

ビクターフラットワイドテレビ

 型名 **AV-32AD1**
AV-28AD1

⚠ ご使用の前に**安全上のご注意**
 (2～7ページ)を必ずお読みください。

目次は8ページです

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

便利な機能
で楽しむ

テレビを使い
こなす

アンテナの
接続と設定

AV機器を
つなぐ

こま当たときは



**このたびはビクター製品をお買い上げ
 いただき、ありがとうございます**

●ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠ 警告

この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

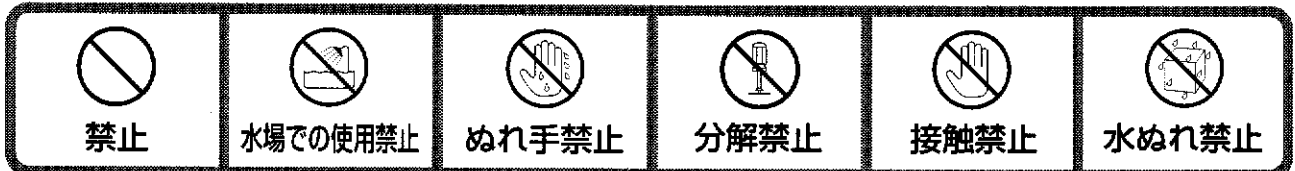
⚠ 注意

この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

● 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



● 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

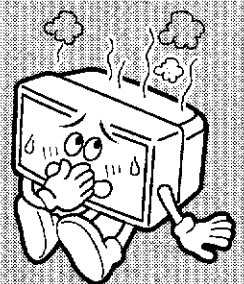


⚠ 警告 万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- テレビの内部に水や物が入ってしまったとき。
- テレビを落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ているときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

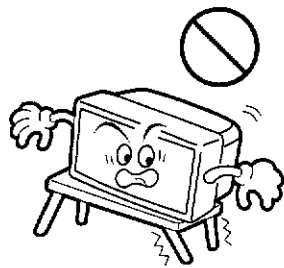
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



⚠ 警告 設置するときの警告

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



指定の電源電圧(交流100V)以外で使

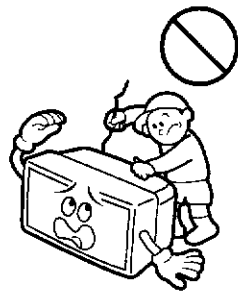
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警告 使用するときの警告

テレビ内部に物を入れない

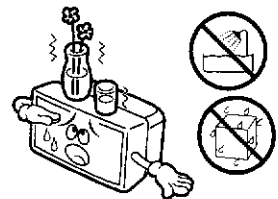
金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



テレビに水をかけない

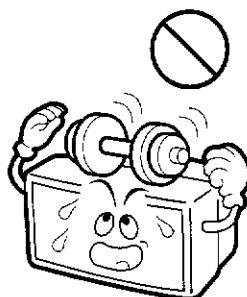
風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)は、こぼれますので、テレビの上に置かないでください。また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。



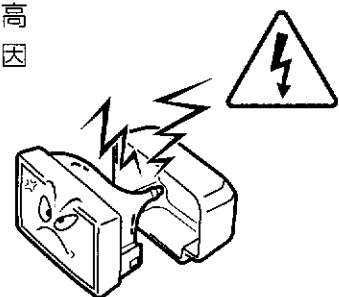
テレビの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



テレビの裏ぶたは外さない

テレビ内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

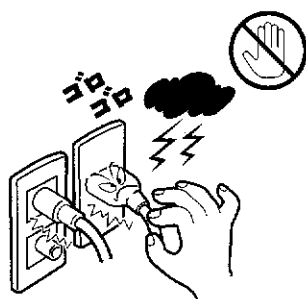


安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告 使用するときの警告

雷が鳴り出したら、アンテナ線
や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



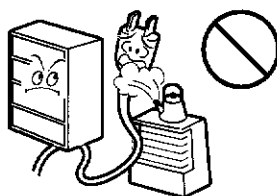
テレビを改造しない

火災・感電の原因となり
ます。

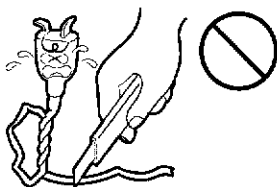


電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いもの
のをのせたり、電源コード
を加工したり・無理に曲げ
たり・ねじったり・引っ張っ
たり、電源コードを熱器具
に近づけたりしないでくだ
さい。火災・感電の原因と
なります。



電源コードが切れたり、
芯線が出たりしたときは、
販売店に電源コードの交
換を依頼してください。
そのまま使用すると火災・
感電の原因となります。

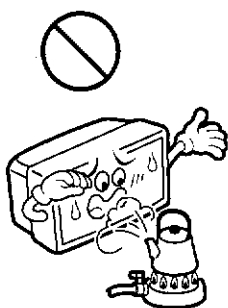


⚠ 注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

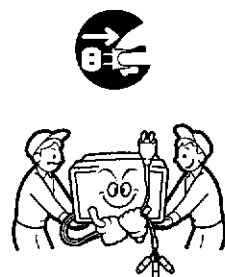
火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- ・ 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。



移動するときは 接続コード類をはずす

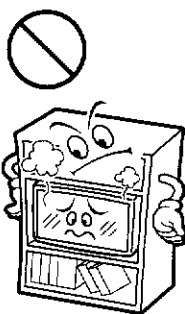
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。また、テレビは重いので必ず2人以上で持ってください。



テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・ 壁や家具などから10cm以上離す
- ・ 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- ・ じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・ テーブルクロスなどを掛けない
- ・ あお向け、横倒し、逆さまにしない



キャスター付きテレビ台に 乗せるときは、キャスターを固定する

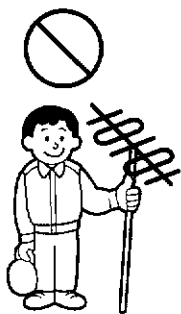
キャスター止め（受け皿など）で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。



アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- ・ 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- ・ BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けよう依頼してください。

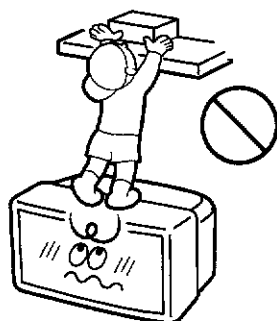


安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意 使用するときの注意

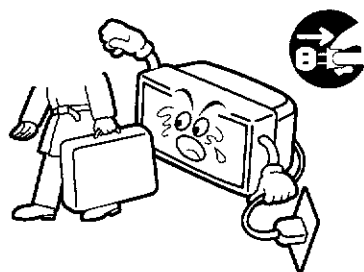
テレビに乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



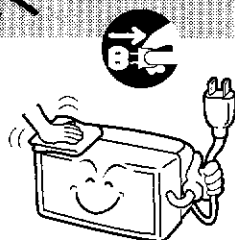
長期間テレビを使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



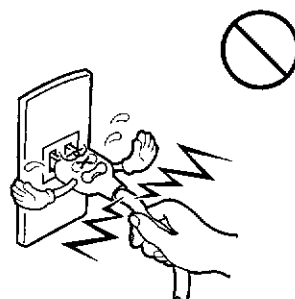
お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

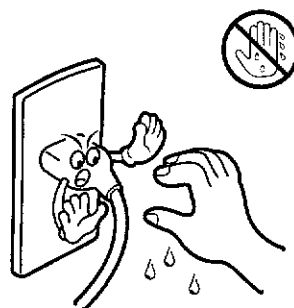


電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



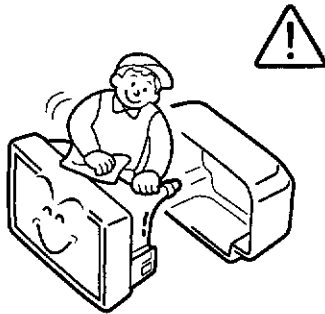
電源プラグのほこりに注意する

電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。



5年に一度はテレビ内部の掃除を販売店に依頼する

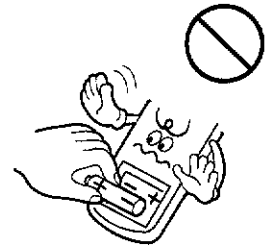
テレビの内部にホコリがたまったらそのまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



乾電池の使い方に注意する

電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表示どおりに入れる
- ・指定された電池以外は使わない



お手入れのしかた

●キャビネットやブラウン管面の汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



●キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- ・シンナーやベンジンでふかない
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない



転倒防止の処置をしてください

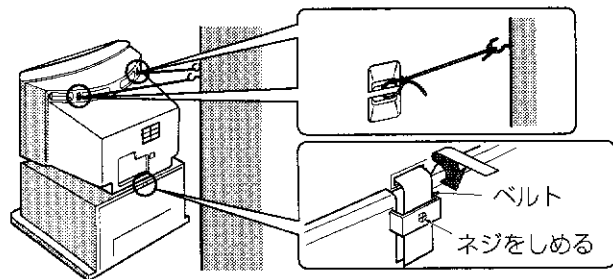
地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のテレビ台を使用するとき

転倒防止用部品を使って固定してください。

壁や柱などに固定するとき

テレビ後面左右の穴を利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。



※説明図は実際の外観と異なることがあります。

目次

安全上のご注意

安全上のご注意	2
---------------	---

テレビを見る前に

テレビを見る前の準備	10
知っておいていただきたいこと	11
各部のなまえ	12

ふだんの使いかた

テレビを見る	16
--------------	----

便利な機能で楽しむ

メニューボタンの使いかた	18
画面サイズの種類	20
画面サイズを変えるには	21
画面の位置を調節する	22
オートパノラマの画面サイズを設定する	22
2画面にする	23
裏番組を同時に見る	24
番組一覧を表示する	24
メモ機能を使う(静止画)	25
見たいところを拡大する	26
映画に最適な画質にする	27
BS放送を録画しながらテレビを見る	27
フィルム撮影された映画などをキレイに見る	27
お好みの映像に調節する	28
お好みの画質を選ぶ	28
映像を調節する	29
音声を調節する	30
音声を切り換える	31

テレビを使いこなす

おはようタイマーを設定する	32
おトク設定	33
3つの節電機能をすべて使うには	33
3つの節電機能から選んで使うには	34
テレビの消し忘れを防止する	35
デジタルE.Eの効果表示をするには	35
シアタープロの設定	36
ありのままのハイビジョン映像を楽しむ	38
画面の傾きを調節	38
地磁気補正	39
自己紹介機能を使うには	39

アンテナの接続と設定

アンテナをつなぐ(VHF、UHFアンテナ)	40
コネクターのつなぎかた	41
チャンネルを合わせる	
チャンネル設定の手順	42
地域の放送局を一括して設定する	42
放送局を個別に設定する	44
CATVチャンネルを直接選ぶ	46
CATVチャンネルを設定する	47
GRT(ゴースト低減)機能の設定	49
BSアンテナをつなぐ	50
BSアンテナを接続するとき	50
BS内蔵のビデオデッキと一緒に接続するとき	50
BS内蔵のビデオデッキ(BSアンテナ出力端子なし) と一緒に接続するとき	51
BSの設定をする	
BSアンテナに電源を供給する	52
BSアンテナの向きを調節する	53
BSチャンネルの設定を変更する	54
時計を設定する	56

AV機器をつなぐ

AV機器などを接続する	
ビデオムービー/テレビゲームを接続する	57
接続できる機器	57
ビデオデッキを接続する	58
BSデコーダーを接続する	59
BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する ...	60
BSデジタルチューナーを接続する	61
DVDプレーヤーを接続する	62
D-VHSを接続する	63
アンプ(オーディオシステム)を接続する	64
AVコンピュリンクⅡを接続する	65

こまったときは

故障かな?と思う前に(症状とその原因と対処方法)	66
こんなメッセージが表示されたら	70
保証書とアフターサービス	72
索引	74
用語解説	75
主な仕様	裏表紙

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

便利な機能
で楽しむ

テレビを使い
こなす

アンテナの
接続と設定

AV機器を
つなぐ

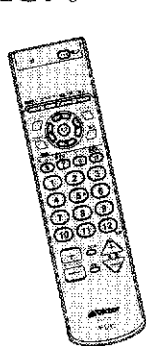
こまったときは

テレビを見る前に テレビを見る前の準備

次の準備はお済みですか？ まだでしたら、参照ページをご覧ください。準備を済ませてください。

1 付属品を確認する

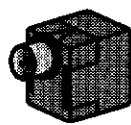
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



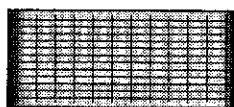
リモコン
(RM-C186)



単3電池2本
(動作確認用)



アンテナコネクター
(動作確認用)



局名シール

5 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の $\ominus$ (マイナス)側を先に入れてください。(詳しくは15ページをご覧ください。)

6 受信チャンネルを合わせる

- チャンネルを一括して設定するには (P.42)
- 放送局をひとつずつ設定するには (P.44)
- CATVを見るには (P.46)
- BSチャンネルの設定を変更するには (P.54)

2 アンテナをつなぐ

- VHF、UHFアンテナをつなぐには (P.40)
- BSアンテナをつなぐには (P.50)
- CATVケーブルをつなぐには (CATV各社にお問い合わせください。)

3 AV機器などをつなぐ

- ビデオデッキ、BSデジタルチューナーなどのビデオ機器をつなぐには (P.58～P.63)
- テレビゲーム機をつなぐには (P.57)
- アンプ(オーディオシステム)をつなぐには (P.64)

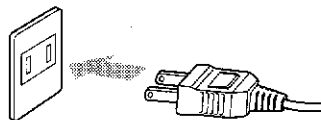
7 地磁気による影響を減らす

大型テレビは地球の磁気(地磁気)の影響を受けやすくなっています。初めて本機を設置したときや、引っ越しなどで本機を移動したときは、地磁気による影響をなるべく少なくしてからお使いください。

- 地磁気による影響を少なくする (P.39)
- 地磁気による画面の傾きを補正する (P.38)

4 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。



テレビを見る前に 知っておいていただきたいこと

テレビを
見る前に

テレビの絵が明るすぎたり、ざらついたりしていませんか？

このテレビのお買い上げ時の設定は、メリハリのきいた絵になっております。ご家庭の環境に適した映像や効果的な省エネ（節電）をするために以下の3つの設定、調節をされることをおすすめします。

1. 映像選択を選びましょう（☞ 設定の方法は28ページ）

ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

2. 節電機能を設定しましょう（☞ 設定の方法は33ページから35ページ）

ふだんはおトク設定を「すべて設定する」にしてご使用になることをおすすめします。

3. 画面がざらついて見えるときは映像調節をしましょう（☞ 設定の方法は29ページ）

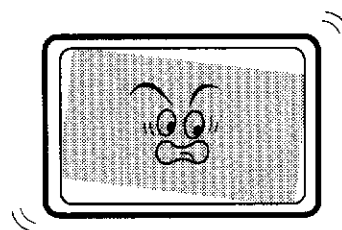
映像調節の「ノイズクリア」を「弱」、「中」、「強」の順に切り換えてみてください。

映像の傾きが気になるときは、画面の傾き調節をおためください。

テレビは地磁気の影響を受けています

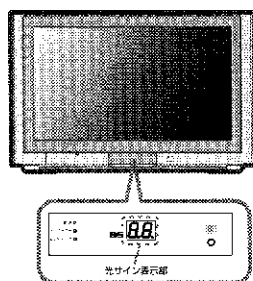
テレビの設置方向によっては、画面の映像が右上がりになったり、左上がりになることがあります。これは地磁気の影響によるものです。特に画面の大きなテレビでは地磁気の影響を受けやすくなっています。故障ではありません。

38 ページの手順にしたがって調節してみてください。



「光サインディスプレイ」をご紹介します

このテレビには、チャンネル番号やビデオ入力の表示以外に、いくつかの設定を光の動きでお知らせする機能を持っています。その表示内容をご紹介します。



本機の電源を入れたとき（光サインの設定によらず動きます）

— → UU → OO → HH → BB → 消灯 → 3 チャンネル表示
になります

ナチュラルシネマを使ったとき（3 回表示がくり返されます）

1 → E → B → B1 → BE → BB → 消灯 → 3 チャンネル表示
になります

スペシャライザーを使ったとき（3 回表示がくり返されます）

11 → 33 → 11 → 消灯 → 3 チャンネル表示になります

おトク設定で「効果表示」を選んだとき

EE → 消灯 → EE → 消灯 → 3 チャンネル表示になります

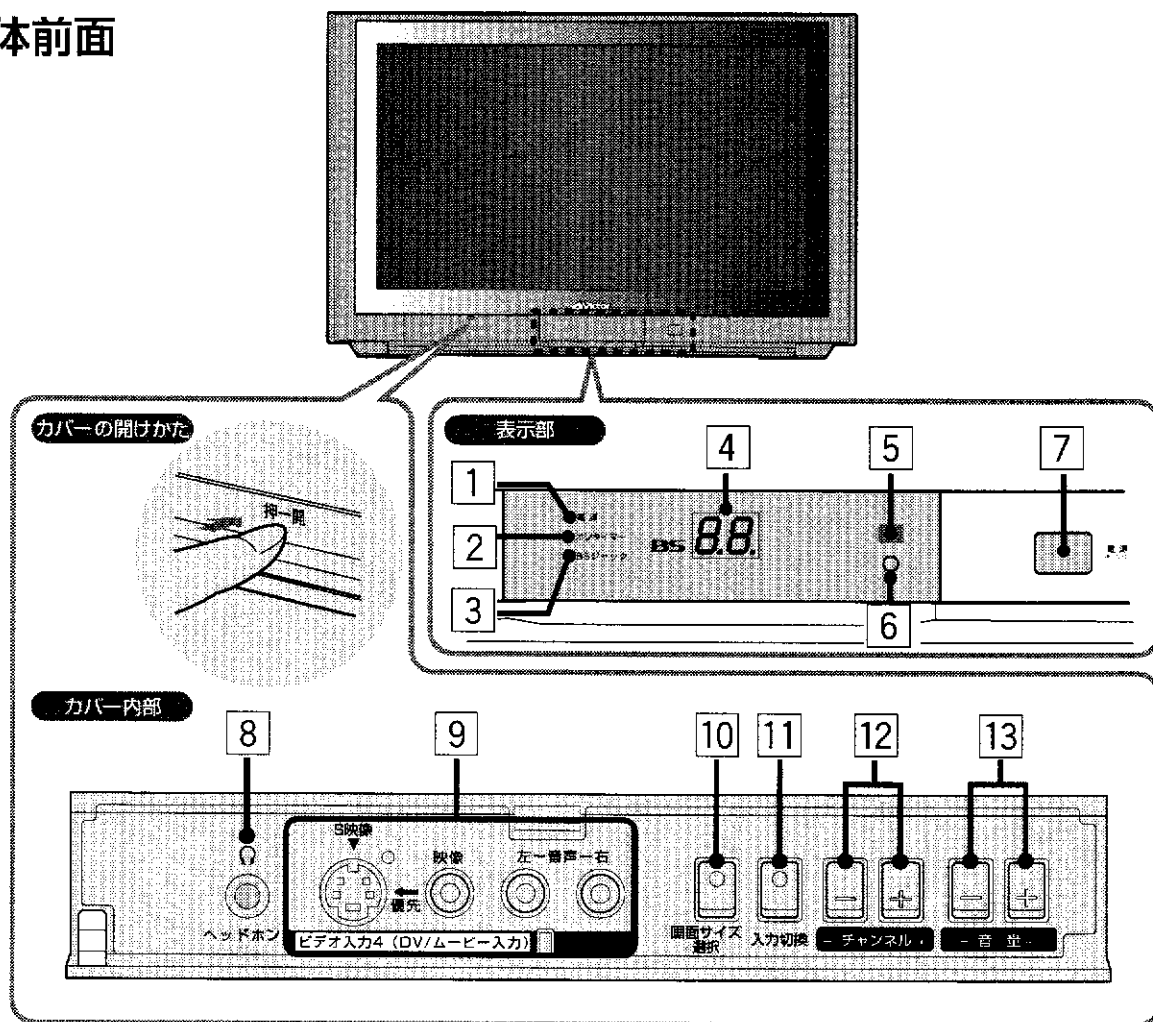
GRT（ゴースト低減）機能を使ったとき（3 回表示がくり返されます）

11 → 11 → 11 → 11 → 11 → 11 → 消灯 → 3
チャンネル表示
になります

●この機能を使うには、画面表示の設定を「光サイン」にします。（17ページ）

テレビを見る前に 各部のなまえ

本体前面



1 電源ランプ

本体の電源が「入」のとき、点灯します。

2 オンタイマーランプ ㊞ 32ページ

「おはようタイマー」を設定しているとき点灯します。

3 BSジャックランプ ㊞ 58ページ

BSジャック中に点灯します。

4 チャンネル表示部 ㊞ 16ページ

ふだんは受信しているチャンネル番号が表示されます。テレビの電源を入れたりすると、チャンネル表示をする前に、表示が変わります。(画面表示の設定が「光サイン」のとき ㊞ 11ページ)

5 リモコン受光部 ㊞ 16ページ

リモコンを操作するときは、リモコンの先端をここに向けます。

6 デジタルE.E. センサー ㊞ 33ページ

省電力機能の「おトク設定」を利用したとき、周囲の明るさを感じ取る部分です

7 電源ボタン ㊞ 16ページ

本体の電源を入／切します。

8 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

9 ビデオ4 (DV/ムービー入力) 端子

㊞ 57ページ

ビデオムービーやテレビゲーム機の映像・音声出力端子とつながります。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子の入力信号が優先されます)

10 画面サイズ選択ボタン ㊞ 21ページ

画面サイズを変更するときに使います。

11 入力切換ボタン ㊞ 17ページ

ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。

12 チャンネル＋／－ボタン ㊞ 16ページ

チャンネルを変えるときに使います。

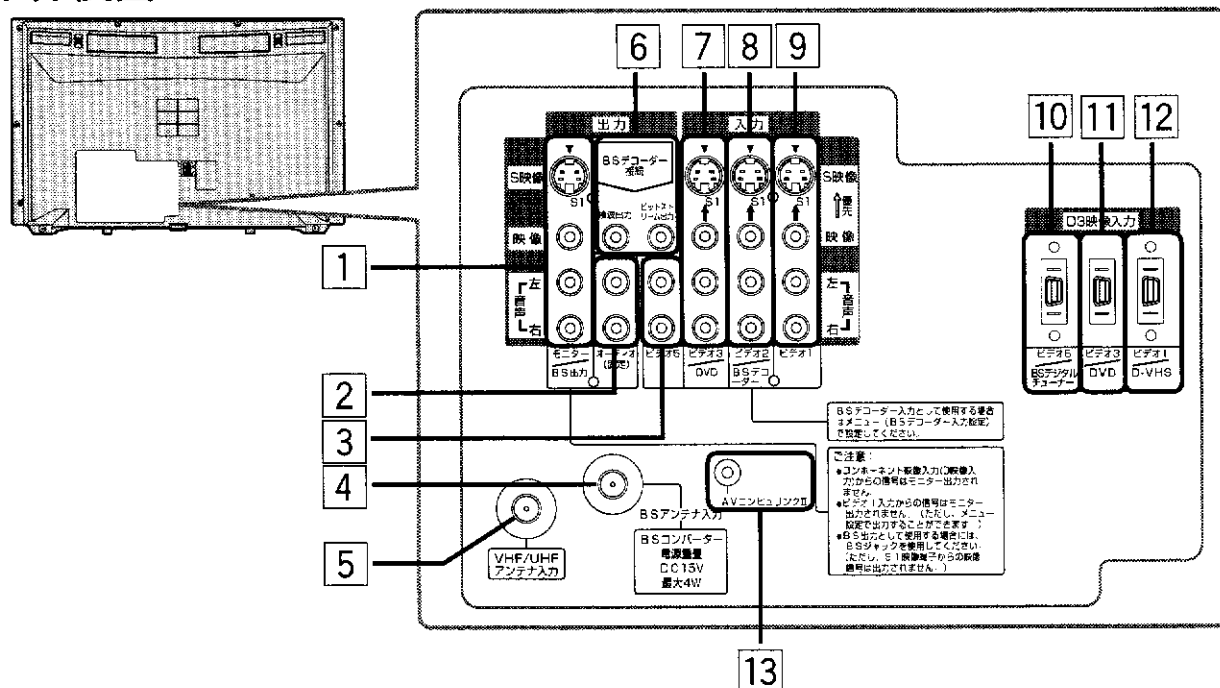
13 音量＋／－ボタン ㊞ 16ページ

音量を変えるときに使います。

テレビを見る前に 各部のなまえ (つづき)

テレビを
見る前に

本体後面



1 モニター／BS出力端子

☞ 58ページ

テレビに映っている映像・音声を出力したり (モニター)、BSだけの映像・音声を出力します。

- BSジャック機能によりモニター出力端子か、BS出力端子かを選ぶことができます。このとき、BSの映像信号はS映像端子からは出力されません。
- D3入力 (ビデオ1、3、5) 端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- 番組一覧中は、モニター出力端子からは出力されません。

2 オーディオ出力 (固定) 端子

☞ 64ページ

AVアンプなどの音声入力端子をつなぎます。

3 ビデオ5音声入力端子

☞ 61ページ

ビデオ5/BSデジタルチューナー端子に接続した機器の音声出力端子をつなぎます。

4 BSアンテナ入力端子

☞ 50ページ

BSアンテナをつなぎます。

5 VHF／UHFアンテナ入力端子

☞ 40ページ

VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

6 BSデコーダー接続端子

☞ 59ページ

BSデコーダーのビットストリーム入力端子と検波入力端子をつなぎます。

7 ビデオ3／DVD入力端子

☞ 62ページ

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます)

8 ビデオ2／BSデコーダー入力端子

☞ 59ページ

ビデオデッキまたはBSデコーダーの映像・音声出力端子をつなぎます。

- メニューの設定により、ビデオ2入力端子か、BSデコーダー入力端子かを選ぶことができます。
(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます)

9 ビデオ1入力端子

☞ 58、60ページ

ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます)

10 ビデオ5/BSデジタルチューナー：D3映像入力端子

☞ 61ページ

BSデジタルチューナーのD端子をつなぎます。

11 ビデオ3/DVD：D3映像入力端子

☞ 62ページ

DVDプレーヤーなどのD端子をもった機器をつなぎます。

- D3入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力に力入れられたS映像信号や映像信号より優先されます。

12 ビデオ1/D-VHS：D3映像入力端子

☞ 63ページ

D-VHSデッキなどのD端子をもった機器をつなぎます。

- D3入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ1入力に力入れられるS映像信号や映像信号より優先されます。

13 AVコンピュリンクII 端子

☞ 65ページ

AVコンピュリンクII 対応のビデオデッキをつなぎます。
● この端子を使うときは、メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII 端子」を「使用する」に設定してください。☞ 65ページ

テレビを見る前に 各部のなまえ (つづき)

リモコン

■ふたを閉じたところ

送信部

テレビのリモコン受光部に向けて
リモコンのボタンを押してください。

1 操作ランプ

リモコンを操作すると点滅します。ランプが暗くなり、操作がしにくくなったら電池を交換してください。

2 オフタイマーボタン

一定時間後に電源を切りたいときに使います。
☞ 17ページ

3 画面表示ボタン

チャンネル番号を画面に表示させたいときに使います。
☞ 17ページ

4 メニューボタン

押すとメニューが表示されます。
☞ 18ページ

5 どこでもズームボタン

画面の好きな部分を拡大することができます。
☞ 26ページ

6 BSチャンネルボタン

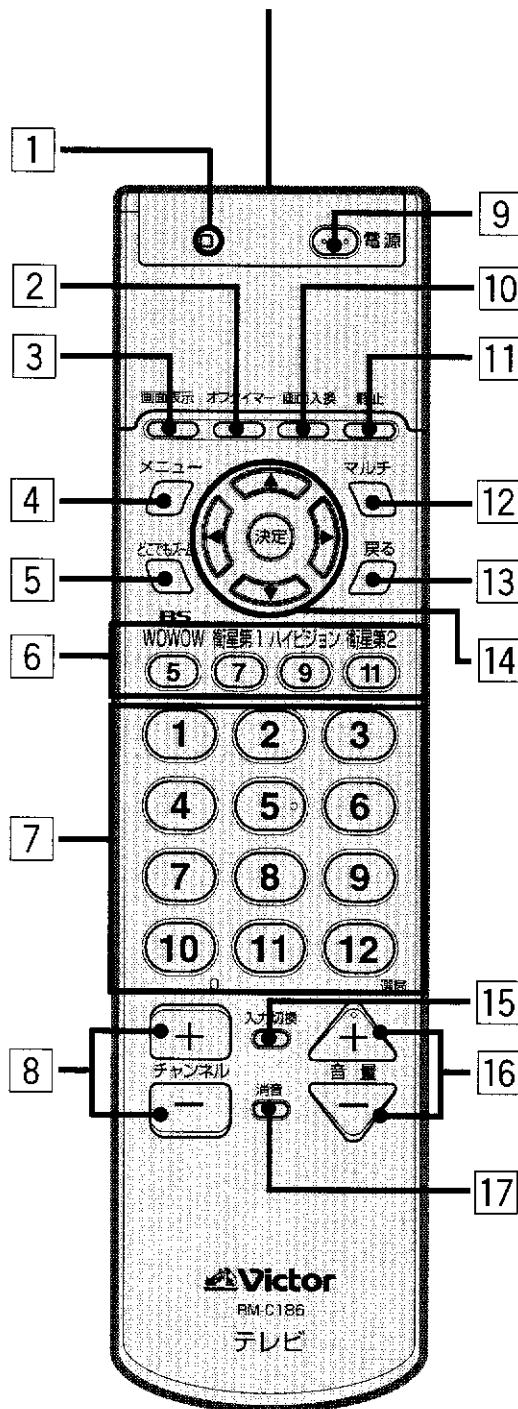
BS放送のチャンネルを選ぶときに使います。
☞ 16ページ

7 チャンネルボタン

VHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。
☞ 16ページ

8 チャンネル+/-ボタン

チャンネルを変えるときに使います。
☞ 16ページ



9 電源ボタン

電源を入/切します。
☞ 16ページ

10 画面入換ボタン

2画面表示しているときに画面の左右を入れ換えるときに使います。
☞ 23ページ

11 静止ボタン

押すと2画面に切り換わり、右側の画面は静止画になります。
☞ 25ページ

12 マルチボタン

押すとマルチ画面アイコン(2画面、裏番組一覧、番組一覧)が表示されます。
☞ 23ページ

13 戻るボタン

前のメニュー画面に戻りたいときに押します。

14 カーソル (◀/▶/▼/▲) ボタン

メニューの項目を選ぶときや、設定を変えるときに使います。

15 入力切換ボタン

ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。
☞ 17ページ

16 音量+/-ボタン

音量を調節するときに使います。
☞ 16ページ

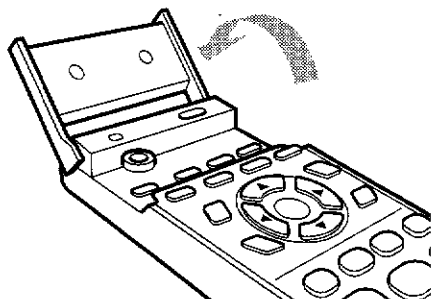
17 消音ボタン

急いで音を消すときに使います。
☞ 17ページ

テレビを見る前に 各部のなまえ(つづき)

テレビを
見る前に

ふたの開けかた



● ふたを閉めるときは

ふたを閉めるときには、「カチッ」と音がするまで閉めてください。
ふたが閉まっていないとボタンが正しく働かないことがあります。

■ ふたを開けたところ

18 映画ボタン

映画番組や映画ソフトを見る
ときに使います。
☞ 27ページ

19 スペシャライザーボタン

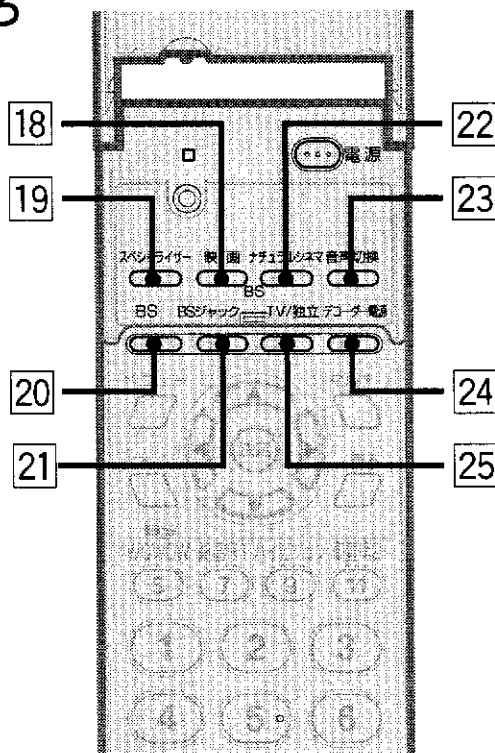
押すと現在のスペシャライ
ザーの設定が表示されます。
設定を切り換えるには、スペ
シャライザーボタンをくり返し
押します。
☞ 31ページ

20 BSボタン

チャンネルボタン(1~9、0
(10))でBSチャンネルを選
ぶときに使います。
☞ 17ページ

21 BSジャックボタン

BS放送を録画するときに使
います。
☞ 27ページ



22 ナチュラルシネマボタン

映画番組や映画ソフトまたは、
アニメーションなどを見ると
きに使います。
☞ 27ページ

23 音声切替ボタン

二重音声放送やステレオ放送
の音声を選ぶときに使いま
す。
☞ 31ページ

24 デコーダー電源ボタン

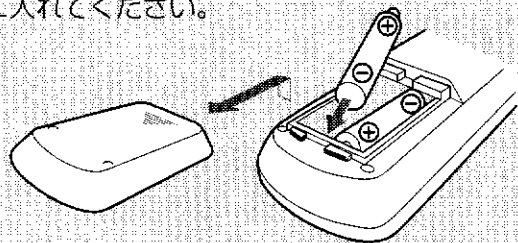
BSデコーダーの電源を入/切
することができます。
☞ 60ページ

25 TV独立ボタン

BS放送の独立音声を聞きた
いときに使います。
☞ 31ページ

電池の入れかた

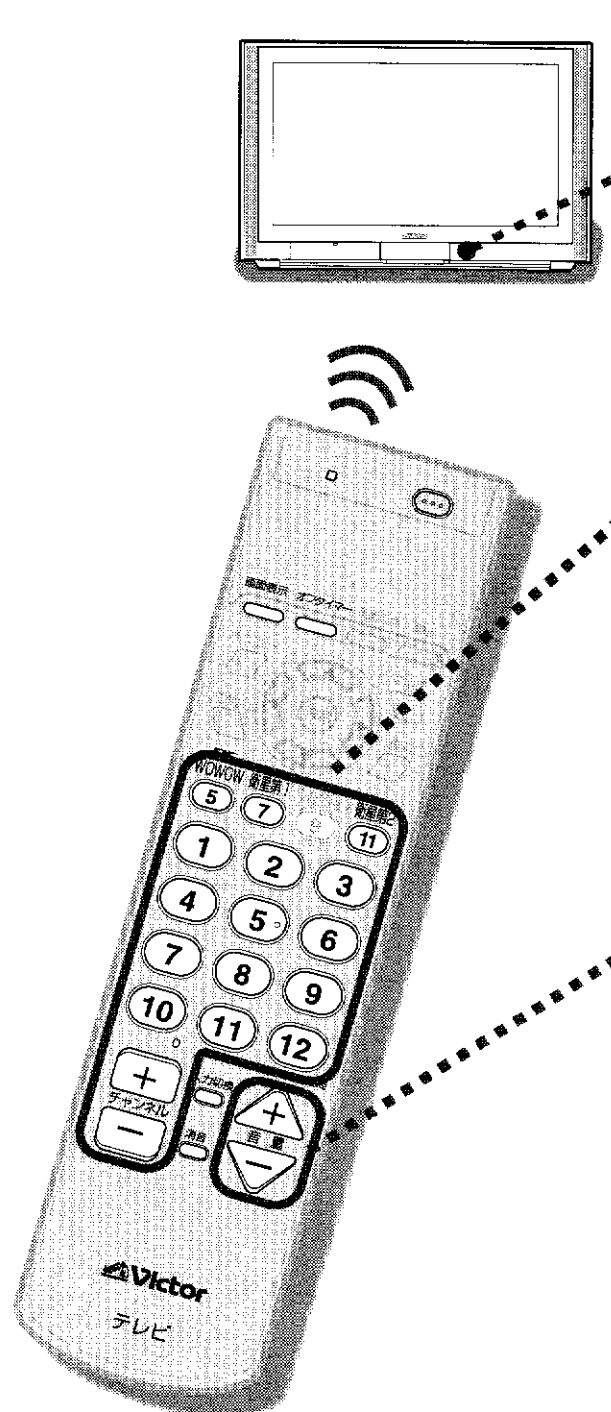
単3乾電池を2本入れます。ショートを防
ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先
に入れてください。



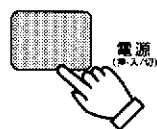
- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。

ふだんの使いかた テレビを見る

この取扱説明書ではリモコンを使っでの操作を説明しています。
テレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。



1 電源を入れる



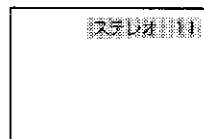
- ・はじめて使うとき
- ・テレビの電源ボタンで電源を切ったとき



- ・リモコンの電源ボタンで電源を切ったとき

2 チャンネルを選ぶ

チャンネルボタンまたはチャンネル+/-ボタンを使ってチャンネルを選びます。選んだチャンネルが本体サイン表示部または画面に表示されます。



画面表示



本体光サイン表示部

3 音量を調節する

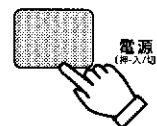
音量ボタンを押すと、画面に音量が表示されます。



電源を切るには



- ・リモコンで操作したいとき



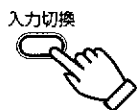
- ・節電したいとき

このテレビではBS9チャンネルのハイビジョン放送を受信することはできません

●「CATV選局方式の選択」で「数字入力方式」に設定しているときは、チャンネルを2桁の数字で入力して選びます。46ページをお読みください。

ふだんの使いかた テレビを見る

ビデオなどの映像を見るには



入力切替
BS7
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
ビデオ5

→ 選択中の設定が矢印で示されます。

押すたびに、入力が次のように切り換わります。

「テレビ (VHF/UHF/CATV/BS)」→「ビデオ1」→「ビデオ2」→「ビデオ3」→「ビデオ4」→「ビデオ5」*→「テレビ」→…。

設定メニューの「各種設定」で「ビデオ2へのBSデコーダー入力」(P.59)が「自動切替する」または「常に使用する」になっているときは、「ビデオ2」は選べません。

*ビデオ5を見るには

本機には3系統のD端子(ビデオ1、3、5)が用意されています。このうちビデオ5はD端子入力専用となっているので、D端子が接続されていないと選ぶことができません。

ふだんの
使いかた

いろいろな表示を出すには



画面表示
光サイン
入力表示
時計表示
表示なし

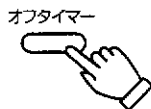
→ 選択中の設定が矢印で示されます。

押すと画面表示メニューが表示されます。

選んだ設定により画面や本体表示窓の表示が変わります。

- 光サイン…本体表示窓にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。
- 入力表示…画面右上にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。
- 時計表示…画面右下に時計が表示されるようになります。
- 表示なし…チャンネルを変えたときや外部入力に切り換えたとき、一定時間チャンネル番号や外部入力が表示されたあと消えます。

おやすみタイマーを使う (オフタイマー機能)



オフタイマー
切り(解除)
30分
1時間
1時間30分
2時間

→ 選択中の設定が矢印で示されます。

テレビを見ながら寝てしまいそうとき使います。設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

1度押すと、設定画面を表示します。その後押すたびに、設定時間が変わります。
設定後、画面に残り時間が表示されます。

残り時間表示

残り時間はテレビの操作をすると消えます。
ただし、動作3分前になると、残り時間が強制的に表示されます。

再設定あるいは解除するには

オフタイマーボタンを押し、設定時間を表示してから、時間を選び直してください。

急いで音を消すには

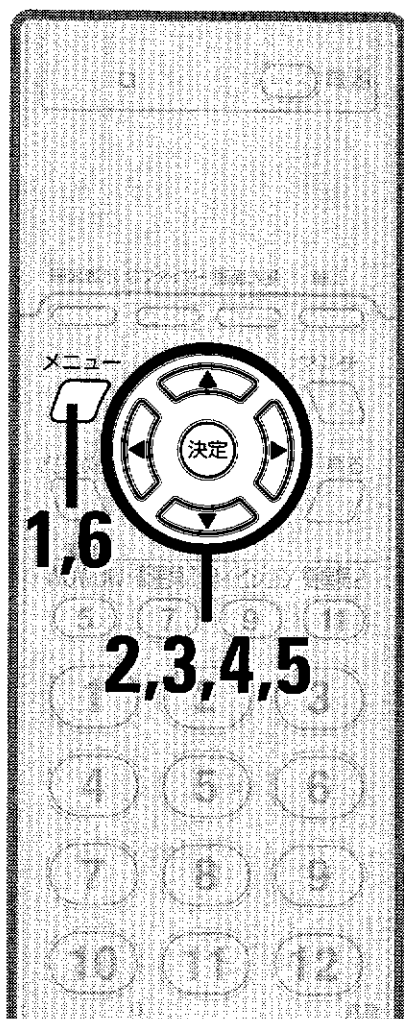


電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。
もう1度押すと、元の音量に戻ります。

メニューボタンの使いかた

このテレビではリモコンを使って「メニュー」と呼ばれる画面上の表示と対話しながら操作（設定や調整など）をおこないます。

ここでは、メニューの基本的な使いかたを説明します。



1

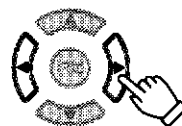
メニューボタンを押す

画面にメニューが表示されます。(画面は右ページのいずれかが表示されます)



2

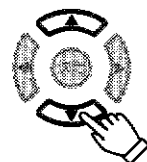
カーソルボタン(◀▶)を押して、設定したい項目を選ぶ



メニュー画面上部の $\curvearrowright$ が移動して、表示されるメニューの設定項目が変わります。表示されるメニューについては右ページをご覧ください。

3

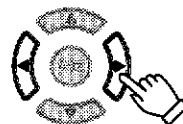
カーソルボタン(▼▲)を押して、調節や設定をしたい項目を選ぶ



$\curvearrowright$ を調節や設定したい項目に移動します。

4

カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を変更する



選ばれた項目の設定が変わります。

5

決定ボタンを押す

変更した内容が記憶されます。



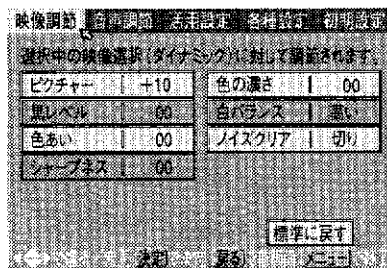
6

メニューボタンを押して終了する

画面からメニューが消えます。

メニューボタンの使いかた

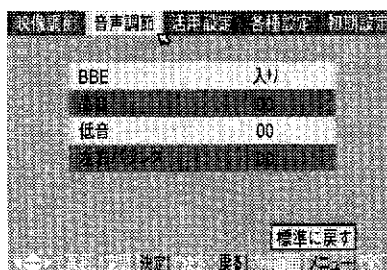
映像設定



肌の色合いや色の濃さを調整したいときに使います。

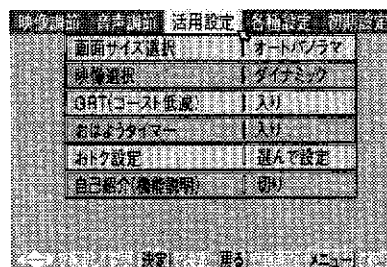
映像選択が「シアター」のときは、ノイズクリアの下に「シアタープロ設定」が表示され、細かな設定ができるようになります。

音声設定



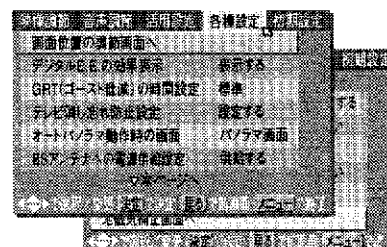
音声の調節(高音、低音、左右のバランス)をしたいときに使います。

活用設定



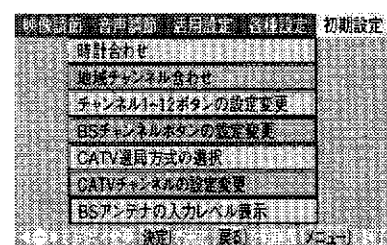
画面サイズを変えたり、ご覧になるソフトに合わせて映像の設定を変えたり、省電力機能を使いたいときに使います。

各種設定



活用設定や初期設定の補助的なメニューで、2ページで構成されています。必要に応じて使います。

初期設定



テレビを設置するときに、テレビ本体の内蔵時計を合わせたり、チャンネルの設定をするときに使います。

便利な機能
で楽しむ

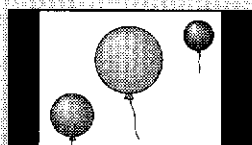
画面サイズの種類

ご自分の好みやご覧の番組に適した画面サイズで映像をお楽しみください。

ノーマル

●テレビ番組をオリジナルのサイズで映す

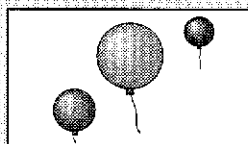
従来のテレビの映像は、縦と横の比率が4:3となっています。この映像をオリジナルのサイズで映します。このとき、左右に黒い帯が残ります。



シネマ

●映画番組を見るとき

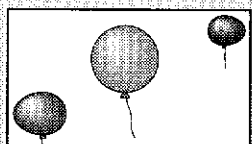
劇場サイズの映画番組や映画ソフトを黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては黒い帯が残ることがあります。



パノラマ

●テレビ番組を横幅にあわせて拡大する

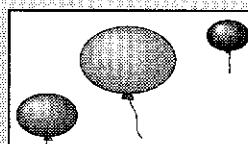
従来のテレビの映像(4:3)を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。



フル

●テレビ番組を画面いっぱいに拡大する

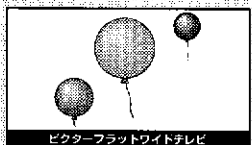
従来のテレビの映像(4:3)を、そのまま画面いっぱいに映します。



字幕パノラマ

●字幕入りの映画番組を見るとき

映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。



ピクチャーフラットワイドテレビ

著作権の侵害について

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

「ノーマルサイズ」ご使用時の注意

長期間「ノーマル」サイズでご覧になると、画面左右に帯が残る「焼きつき」が発生しやすくなります。また非常に明るい映像でご覧になると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

画面サイズを変えるときは、ご覧になっている入力に合わせて一覧が表示されます。

■ふつうの放送やビデオなど (NTSC)

画面サイズ選択

オートパノラマ

パノラマ

字幕パノラマ

シネマ

フル

ノーマル

■ハイビジョン (D3入力) *

画面サイズ選択

デジタルHD

アナログHD

■プログレッシブ (D3入力) *

画面サイズ選択

パノラマ

シネマ

字幕パノラマ

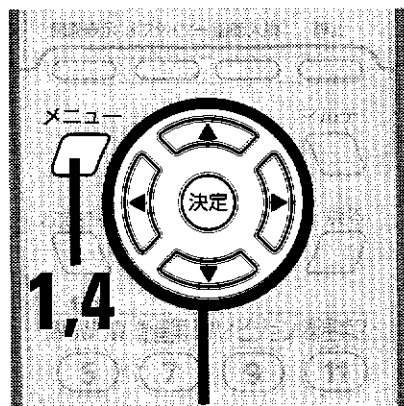
フル

ノーマル

(*「用語解説」P.75)

画面サイズを変えるには

ご覧になっている映画や番組に合わせて、最適な画面サイズを選びます。



本体のボタンで操作するときは

画面サイズ選択ボタンを繰り返し押します。
1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびに画面サイズが切り換わります。

こんなときは？

「オートパノラマ」のときは…

「パノラマ」(または「ノーマル」)、「シネマ」
「字幕パノラマ」の中から最適な画面サイズ
が自動的に設定されます。

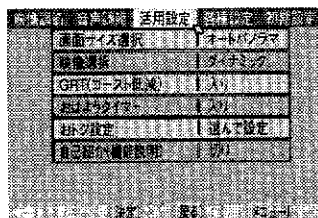
- 「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定によります。くわしくは「オートパノラマの画面サイズを設定する」(※P.22)をご覧ください。
- 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間時間がかかることがあります。
- 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることもあります。このときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

ワイドクリアビジョン放送*を受信すると…

画面サイズは自動的に「シネマ」に切り換わります。(*「用語解説」※P.75)

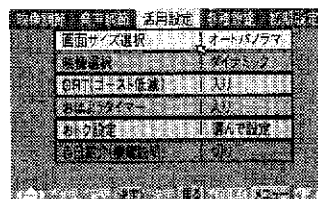
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ



2

カーソルボタン(▲▼)で、「画面サイズ選択」を選ぶ



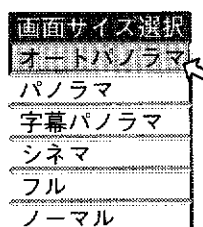
選んでから



3

カーソルボタン(▲▼)でお好みの画面サイズを選び、決定ボタンを押す

ご覧になっている放送やお使いの外部入力端子のより、選ぶことのできる画面サイズが表示されます。



(例:ふだんの放送のとき)

選んだ画面サイズに切り換わります。

4

決定ボタンまたはメニューボタンを押して決定する

ボタンを押さなくても、数秒すると選んでいる画面サイズに決定されます。

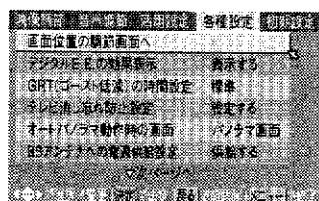
便利な機能
で楽しむ

画面の位置を調節する

映画の字幕が隠れてしまうときなどに、画面の位置を調節します。

1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

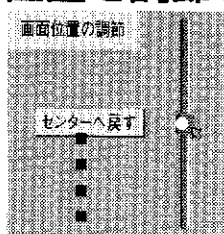
2 「画面位置の調節画面へ」を選ぶ



選んでから



3 カーソルボタン(▲▼)で画面の位置を調節する



センターに戻したいときには、カーソルボタン(▲▼)で「センターへ戻す」を選んで「決定」ボタンを押す

4 メニューボタンを押して終了する



注意!

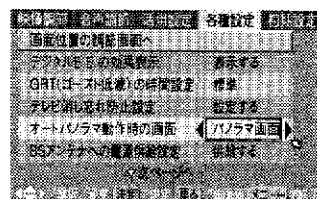
- ノーマルサイズでご覧になっているときは、画面上下移動はできません。
- 画面サイズを切り換えると、画面上下移動の設定は解除されます。

オートパンoramaの画面サイズを設定する

オートパンoramaのとき、画面サイズ4:3の映像を、自動的に画面いっぱい拡大して映すか、画面サイズ4:3の映像で映すかを設定します。

1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」に合わせる

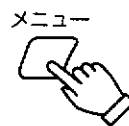
2 カーソルボタン(◀▶)で「オートパンorama動作時の画面」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する

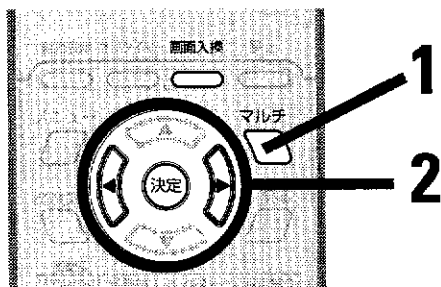
- 「ノーマル画面」：
従来(テレビサイズ)のときは、画面サイズが4:3の画面になります。パノラマ画面での映像の変形が気になる方はこちらを選びます。
- 「パノラマ画面」：
画面いっぱいの映像になります。

4 メニューボタンを押して終了する



2画面にする

2つの番組を同時に楽しむことができます。



1 マルチボタンを押し、画面下に選択表示を出す

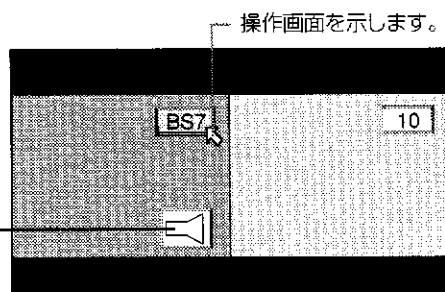


選択表示

2 カーソルボタン(◀▶)でを「2画面」に合わせて、決定ボタンを押す

2画面表示になります。

2画面のときは、操作画面の音声スピーカーから聞こえてきます。



スピーカーから音が出ていることを示します。

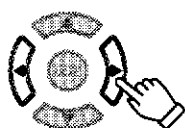
左右の画面を入れ換えるには

画面入換ボタンを押すたびに左右の画面が入れ換わります。操作画面の音声スピーカーから聞こえます。



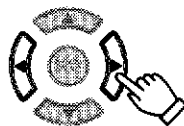
操作画面を変えるには

2画面にしたときは、左画面が操作画面になっています。操作画面を変えるにはカーソルボタン(◀▶)を押します。音声は操作画面の音声スピーカーから聞こえてきます。

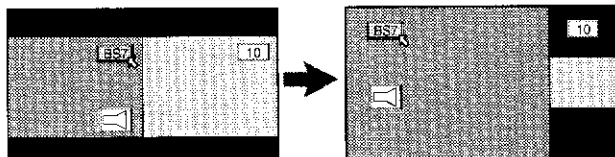


操作画面を拡大するには

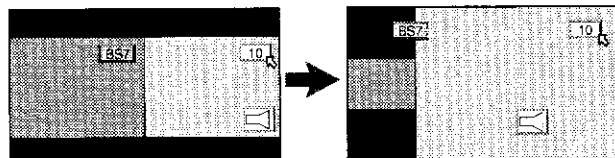
2画面中にカーソルボタンを押すと操作画面が大きくなります。



● 左画面を操作画面にして、カーソルボタン(◀)を押します。



● 右画面を操作画面にして、カーソルボタン(▶)を押します。



1画面に戻すには

2画面中に決定ボタンを押します。操作画面の映像が1画面になります。

● 次の方法でも1画面に戻せます。

1. 2画面中にマルチボタンを押し、マルチアイコンを表示する。
2. 矢印が「1画面」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す。

こんなときは？

2画面中にヘッドホンをつなぐと…

スピーカーからは左画面の音声、ヘッドホンからは右画面の音声聞こえてきます。(ヘッドホンからのテレビ放送の音声はモノラル音声になります)

- ヘッドホンを接続中に2画面にすると、右画面の音声はスピーカーから聞こえなくなります。
- 左画面の音声を聞きたいときは、画面入換ボタンを押して右画面にしてから音量+/−ボタンを押し、音量を上げてください。

次のような2画面表示はできません。

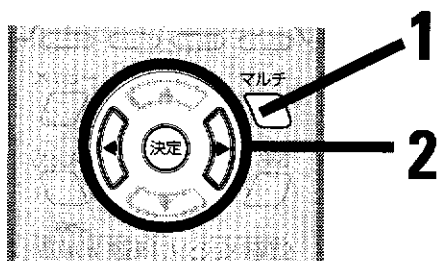
- 左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映す。
- 左右の画面にビデオ入力の映像を映す(ビデオ4は除く)
- 左右の画面で同時にD3映像入力の映像を映す。
- 左右の画面で同時にBS放送を見る。

2画面中はオートパノラマ(P.21)は使えません。

便利な機能
で楽しむ

裏番組を同時に見る

裏番組は現在見ている番組といっしょに3つまでの番組を子画面（小さな画面）で見ることができます。



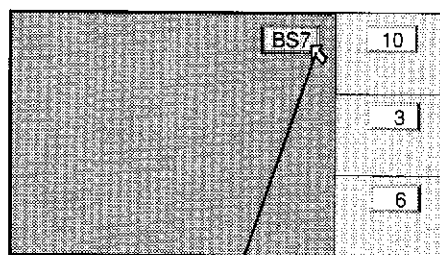
- 1 マルチボタンを押し、画面下に選択表示を出す



選択表示

- 2 カーソルボタンで「裏番組」に合わせて、決定ボタンを押す

裏番組画面のときは、左画面の音声は常にスピーカーから聞こえてきます。



操作画面を示します。

画面について

裏番組表示にしたときは、左画面が操作画面になっています。

右画面3枚はそれぞれのチャンネルの放送が一定の時間で取り込まれる静止画で表示されます。また、音声はスピーカーから出ません。

それぞれの画面でチャンネルを変えるには

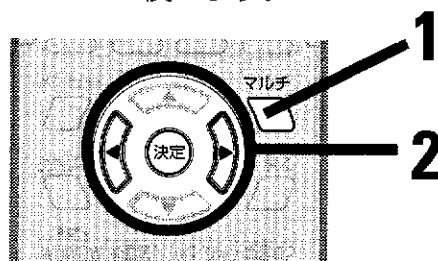
カーソルボタン(◀▶▲▼)で、操作画面(矢印)をチャンネルを変えたい画面に移動させ、チャンネルを変えます。

どの画面でも操作画面にしたとき、決定ボタンを押すと、裏番組表示が解除されて1画面表示になります。

番組一覧を表示する

番組一覧アイコンは現在放送されている番組を順番に分割画面に表示します。

番組を選ぶときに使います。



- 1 マルチボタンを押し、画面下に選択表示を出す



選択表示

- 2 カーソルボタンで「番組一覧」に合わせて、決定ボタンを押す

画面が(9、12または16)分割されて、番組が静止画で映ります。(最初の表示中は音声は聞こえません。)

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
BS5	BS7	BS9	BS11

受信できる放送局が16以上あるときは、カーソルボタン(◀▶▲▼)を押すと、番組一覧の続きを見ることができます。

●一通り分割表示の一覧が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。(このときは音声も聞こえます。)

- 3 カーソルボタン(◀▶▲▼)で見たい番組を選ぶ

カーソルボタン(◀▶▲▼)を使うと素早く番組を選ぶことができます。

メモ機能を使う(静止画)

4 決定ボタンを押して選んだ番組を1画面にする

選ばれたチャンネルが1画面に表示されます。

BSジャック中は

BSチャンネルは、BSジャックしているチャンネルだけが表示されます。他のチャンネルは表示されません。

表示されないチャンネル

番組一覧で表示できるチャンネルは、チャンネル＋／－ボタンで選局できるチャンネルです。チャンネル＋／－ボタンで選局できないチャンネルは表示されません。

番組一覧中にできない操作

次のボタンまたは機能は操作できません。

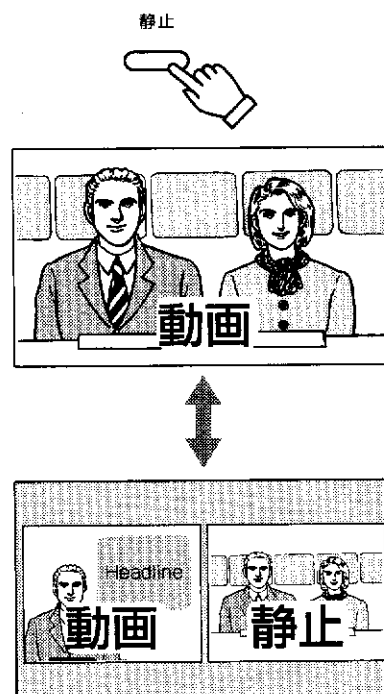
- ・オートパノラマ機能
- ・映画ボタン、ナチュラルシネマボタン、スペシャライザーボタン、音声切換ボタン、静止ボタン、画面入換ボタン、オフタイマーボタン、チャンネル＋／－ボタン、BSジャックボタン、入力切換ボタン、どこでもズームボタン

今見ている映像を静止画面で見ることができます。

応募先の住所などをメモするときに便利です。

同時に今まで見ていた番組も楽しめます。

1 静止させたい場面で静止ボタンを押す



便利な機能
で楽しむ

※もとの画面に戻すには、もう一度静止ボタンを押します。

こんなときは?

2画面中に静止ボタンを押すと...

操作画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。もう一度静止ボタンを押すと元の2画面に戻ります。

裏番組 (※P.24) を見ているときに、静止ボタンを押すと...

操作画面が左画面のときは、裏番組は解除され、ご覧になっていたチャンネルの動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。もう一度静止ボタンを押すと、裏番組に戻ります。

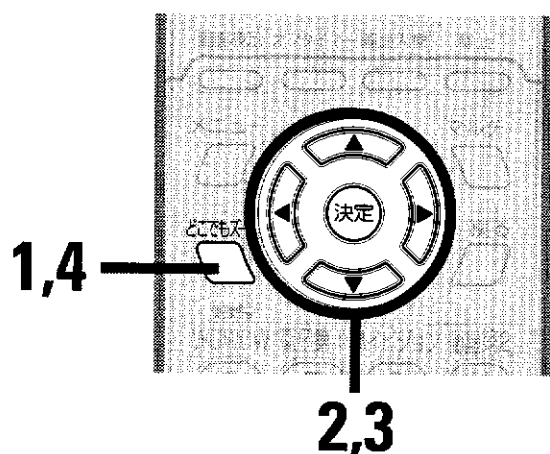
- 操作画面が右画面のときは、静止ボタンは動きません。

次のようなときは、静止画をご覧になることはできません。

- 番組一覧を表示中のとき。

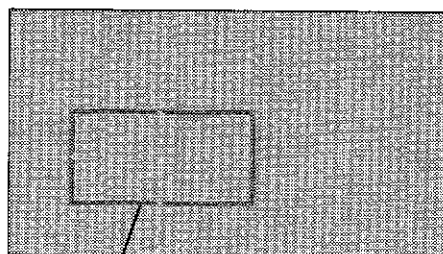
見たいところを拡大する

画面の一部を拡大して見ることができます。



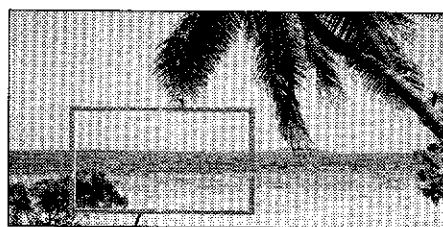
1 どこでもズームボタンを押す

画面に拡大範囲をしめす枠が表示されます。
(このとき画面サイズはフルに変わります。)



拡大される範囲

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)でズームしたい場所に枠を移動させる



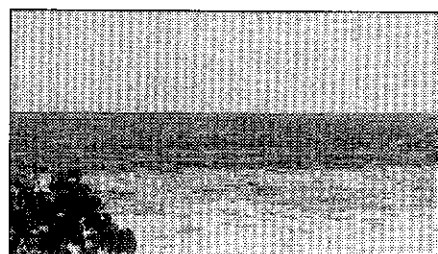
ズーム枠

このズーム枠は、拡大したい場所を指定するめやすです。実際に拡大される位置や大きさが異なる場合があります。

3

決定ボタンを押す

ズーム枠で囲まれた範囲が、画面いっぱいに表示されます。



4

ズームを解除するには、どこでもズームボタンをもう1度押す

ズームが解除されてふだんの映像に戻ります。



ズーム中に拡大したい部分を移動するには

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して拡大したい部分を移動することができます。

拡大された画面について

どこでもズーム機能で拡大された映像は、デジタル処理により拡大しているので、元の映像よりも粗い感じになります。

どこでもズームボタンを使っているときは

カーソルボタン(◀▶▲▼)と決定ボタン、戻るボタンが使えます。

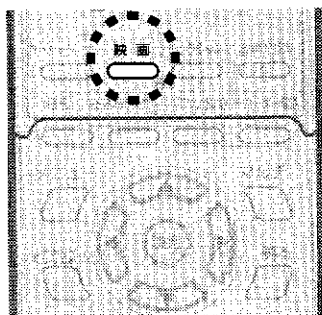
映画に最適な画質にする

映画ボタンを押すと、番組や映画ソフトに最適な画面設定になります。

「入り」にすると、画面サイズ、映像選択、デジタルE.E.センサー、白バランスが自動的に設定されます。(押すたびに「入り」、「切り」が切り換わります)

ふたを開けたところ

映画ボタン



映画ボタンを使うときは

- 2画面中、裏番組中は映画ボタンを押しても、画面サイズは設定されません。
- 次のようなときは映画ボタンの設定は「切り」になります。
 - ・ ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・ S1映像信号が入力されたとき
 - ・ チャンネルや入力を切り換えたとき

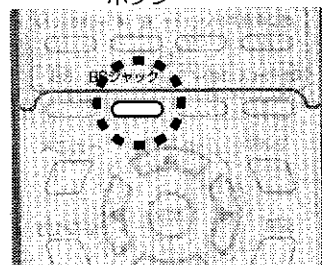
BS放送を録画しながらテレビを見る

BSチャンネルを見ているときにBSジャックボタンを1回押すと、現在の設定が表示されます。その後押すたびにBSジャックの「入り(BS固定)」「切り」が切り換わります。

詳しくは、「ビデオデッキを接続する」をご覧ください。(P.58)

ふたを開けたところ

BSジャック
ボタン



BSジャック機能について

テレビのBSチューナーを、接続されているビデオデッキの録画用に占有させる機能なので、BSジャック中に受信中のBS放送のチャンネルを変えたり、音声を変えることはできません。また、BSジャック中はテレビの電源ボタンを押して電源を切らないでください。電源を切るとモニター/BS出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出られなくなります。

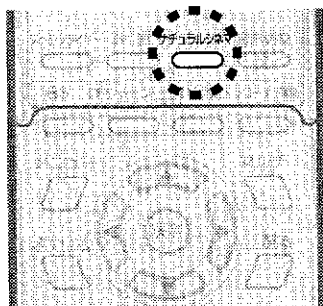
便利な機能
で楽しむ

フィルム撮影された映画などをキレイに見る

フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。このようなときに、ナチュラルシネマを「入り」にすると動きの速いところも、ぼんやり感のない映像でご覧になれます。

ふたを開けたところ

ナチュラルシネマ
ボタン



ナチュラルシネマボタンを押すたびに、ナチュラルシネマの「入り」「切り」が切り換わります。「入り」にすると、画面に「ナチュラルシネマモードにしました。」というメッセージが現れます。

ナチュラルシネマに関するお願い

- 通常はナチュラルシネマは「切り」にしてお使いください。ふだんの放送など、設定を「入り」にすると輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。
- 2画面中、裏番組中、番組一覧中はナチュラルシネマボタンは使えません。
- 次のようなときはナチュラルシネマの設定は「切り」になります。
 - ・ ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・ チャンネルや入力を切り換えたとき
 - ・ 2画面、裏番組や番組一覧に画面を切り換えたとき

また、ハイビジョン(1125i)やプログレッシブ(525p)の番組を見ているときや、2画面中、裏番組中や番組一覧中は設定を「入り」にすることはできません。

お好みの映像に調節する

必要に応じて操作をしてください。
ふだんは画質を選ぶだけでもお楽しみいただけます。

1. 画質を選ぶ (28ページ)

4種類の画質から選びます。

2. 映像を調節する (29ページ)

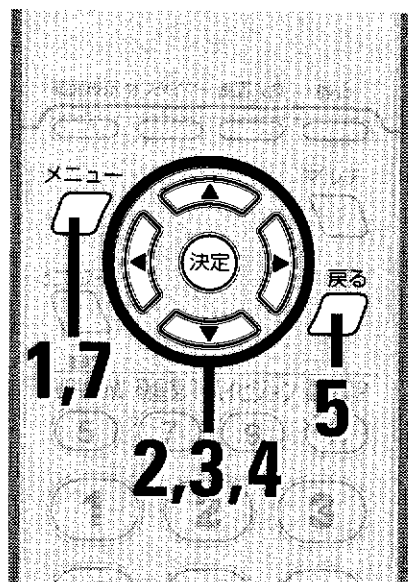
選んだ画質を調節します。

3. シアタープロの調節をする (36ページ)

「シアター」の画質を選んだときに
細かな調節ができます。詳しい知識
をお持ちの方向けの調節です。

映像選択のめやす

スタンダード	ふつうの明るさの部屋でくっきりとした映像を見たいとき
ダイナミック	明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき
シアター	映画番組や映画ソフトを見たいとき
ゲーム	テレビゲームをたのしむとき 明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります

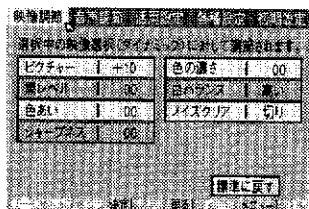


お好みの画質を選ぶ

1

メニューボタン(メニュー)を押す

メニュー画面が表示されます。

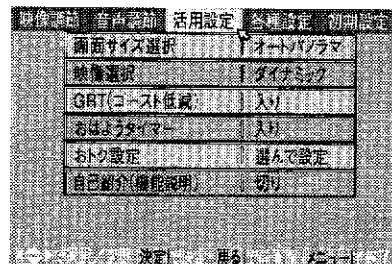


●映像調節以外のメニューが表示されます。

2

カーソルボタン(◀▶)を押してマークを「活用設定」に合わせる

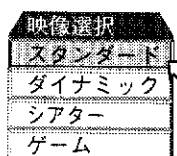
活用設定のメニュー画面になります



3

カーソルボタン(▲▼)を押してマークを「映像選択」に合わせて決定ボタン(決定)を押す

「映像選択」画面が表示されます。



4

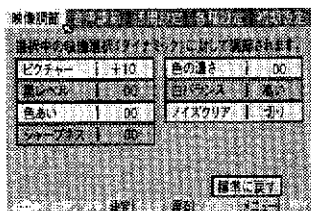
カーソルボタン(▲▼)を押してマークを選びたい画質に合わせ、決定ボタン(決定)を押す

選んだ映像に切り換わり、メニューが画面から消えます。

お好みの映像に調節する

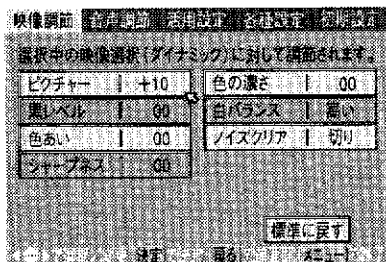
映像を調節する

- 1 メニューボタン(メニュー)を押す
メニュー画面が表示されます。



●映像調節以外のメニューが表示されることがあります。

- 2 カーソルボタン(◀▶)を押してマークを「映像調節」に合わせる
映像調節のメニュー画面になります。

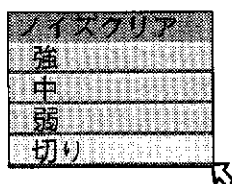


- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して調節したい項目にマーク合わせて決定ボタン(決定)を押す
調節用の画面が表示されます。

例:「ピクチャー」を選んだとき



例:「ノイズクリア」を選んだとき

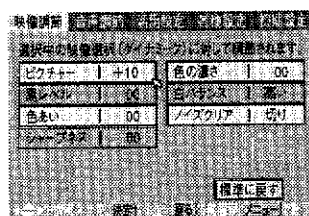


数秒間、操作を行わないと、手順1の画面に戻ります。

- 4 カーソルボタン(◀▶)を押して調節する

●ノイズクリアの調節はカーソルボタン(▲▼)を使います

- 5 調節が終わったら戻るボタン(戻る)を押す
メニュー画面が画表示されます



●この画面はピクチャーの調節が終わったときの例です。

●調整が終わったら、決定ボタン(決定)を押してもメニュー画面に戻ることができます。

- 6 他の項目も調節するときは手順3から5をくり返す

- 7 メニューボタン(メニュー)を押す
メニュー画面が消え、操作が終わります。

お買い上げ時の設定に戻すには

- 手順3で「標準に戻す」にマークを合わせ、決定ボタン(決定)を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

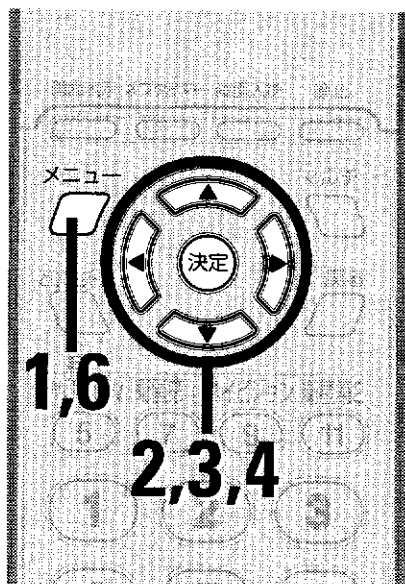
調節項目の内容と調節のめやす

調節項目	◀	▶	調節の目安
ピクチャー	暗く・淡く	明るく・濃く	明るさ・色の濃さを大まかに決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
白バランス	高	低	画面全体の色調を選ぶ 高: 標準 低: 赤みが強くなる
色の濃さ	淡く	濃く	交互に調節して健康的な
色あい	赤っぽく	緑っぽく	肌色に
シャープネス	やわらか	くっきり	好みの輪郭に
ノイズクリア	強 中 弱 切り		画面のざらつきが少なくなるように調節

便利な機能で楽しむ

音声を調節する

注意：ヘッドホンで聞いているときは、音声調節ができません。



音声調節のめやす

	◀	▶
高音	弱く	強く
低音	弱く	強く
左右バランス	左側が大きく	右側が大きく
BEE*	「入り」と「切り」の切り換え 「入り」に設定すると、原音に忠実に聞きやすい音を再現します。 * BBEは、BBE Sound社の登録商標です。	

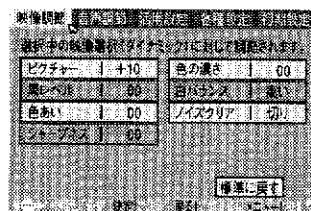
お買い上げ時の設定に戻すには

- 手順3で「標準に戻す」にマークを合わせ、決定ボタン(決定)を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

1

メニューボタン(メニュー)を押す

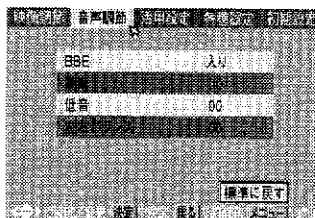
メニュー画面が表示されます。



- 映像調節以外のメニューが表示されることがあります。

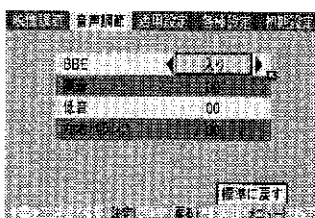
2

カーソルボタン(◀▶)を押してマークを「音声調節」に合わせる



3

カーソルボタン(▲▼)を押してマークを調節や設定したい項目に合わせる



4

カーソルボタン(◀▶)を押して調節や設定をする

5

他の項目を調節するときは、手順3と4をくり返す

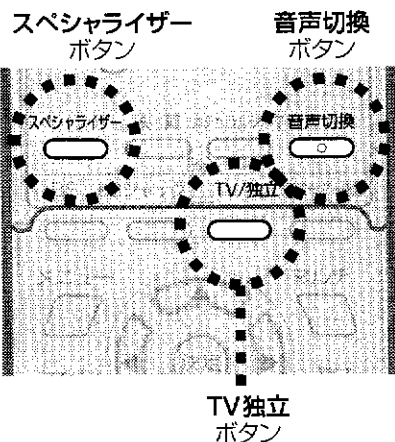
6

メニューボタン(メニュー)を押す

メニュー画面が消え、操作が終わります。

音声を切り換える

ふたを開けたところ



■音声を選ぶ

二重音声放送やステレオ音声放送のときに聞きたい音声を選びます。



例：二重音声放送を受信しているとき

1度押すと、現在の設定が表示されます。
押すたびに、次のように音声と表示が切り換わります。

二重音声放送受信中は (BS放送、ふつうのテレビ放送) :
「主音声」→「副音声」→「主+副音声」→「主音声」→…。

ステレオ放送受信中は (ふつうのテレビ放送) :
「ステレオ」→「モノラル」→「ステレオ」→…。

便利な機能
で楽しむ

BS有料放送で独立音声を聞くには

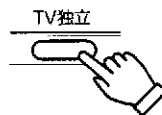
- BSデコーダー側で切り換える
BS有料放送で音声を切り換えるには、BSデコーダー側で音声を切り換えてください。

スペシャライザーの設定のしかた

- DVDやビデオテープを再生しているとき
音声ステレオのときは「スペシャライザー入り」、モノラル音声のときは「モノラルスペシャライザー入り」を選んでください。
- ヘッドホンの音声には働きません
スペシャライザーは、ヘッドホンを使用しているときには働きません。

■BS放送の独立音声を聞く

Aモード音声で放送されているBS放送の番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。



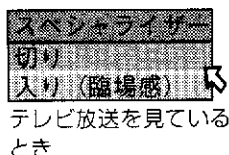
現在の設定はTV独立
音声「テレビ音声」

1度押すと、現在の設定が表示されます。
その後押すたびに、テレビ音声と独立音声切り換わります。

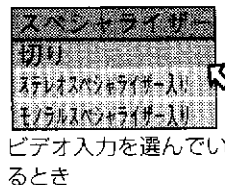
■臨場感のある音声を楽しむ

音楽に広がりをもたせ、臨場感のある番組を楽しむことができます。

スペシャライザー



テレビ放送を見ているとき



ビデオ入力を選んでいるとき

テレビ放送でも、ステレオやモノラル、音声多重放送などの判別ができないときは、ビデオ入力を選んでいるときとおなじ表示がされます。

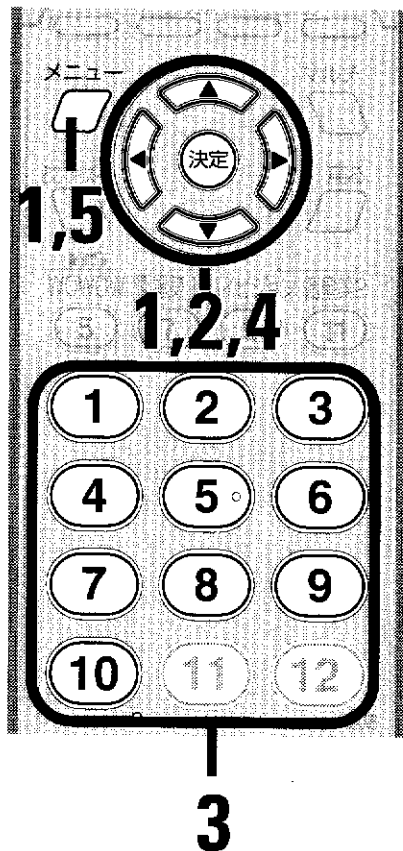


SPATIALIZER®
3-D STEREO

* スペシャライザーはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。
SPATIALIZERおよびシンボルマークはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

おはようタイマーを設定する

準備: 56 ページの「時計を設定する」にしたがって、時計の設定をおこなってください。

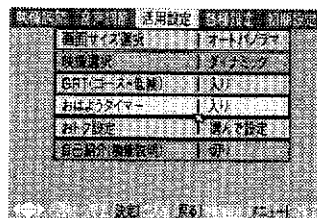


1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

2

カーソルボタン(▲▼)で「おはようタイマー」を選ぶ

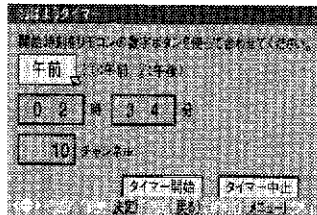


選んでから



3

リモコンの数字ボタンを使って、時刻を設定する



「おはようタイマー」を止めるには
手順4で「タイマー中止」を選びます。

「おはようタイマー」の設定を
あとから変えるには

「おはようタイマー」で設定した時刻とチャンネルは記憶されます。
設定した時刻とチャンネルを変えるには
設定したときと同じように時刻とチャンネルを設定してください。

時間の設定のしかた

- 午前・午後の設定
リモコンの数字ボタンで設定します。午前なら①、午後なら②を押します。
 - 時刻の設定
リモコンの数字ボタンで、現在時刻を入力します。
 - チャンネルの設定
リモコンの数字ボタンで、チャンネルを指定します。
- 設定をまちがってしまったら
カーソルボタン(◀▶▲▼)で項目を戻すことができます。

4

カーソルボタン(◀▶▲▼)で「タイマー開始」を選ぶ

5

決定ボタンを押して終了する

オンタイマーランプが点灯します。



6

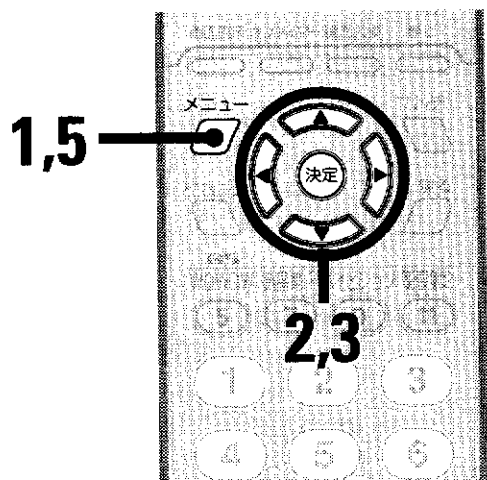
リモコンの電源ボタンを押して電源を切る

設定された時間になると自動的にテレビの電源が入ります。



おトク設定

このテレビには3つの節電機能があります。「おトク設定」メニューを使って、すべての節電機能を使うか、選んで使うか、節電機能をつかわないかの設定ができます。



節電機能の種類

おトク機能

デジタル E.E. センサー：

Ecology & Economy (目にやさしい省電力) + Electronic Eye (電子の目) の略です。

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になる上、目にやさしい機能です。

●「明るめ」「標準」「ひかえめ」「切り」を選びます。

無信号電源オートオフ：

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切って節電します。

●「する」「しない」を選びます。

深夜電源オートオフ：

設定された時間になるとテレビの電源を切って節電する機能です。

●「午前0時」「午前1時」「午前2時」「しない」を選びます。

おトク以外の節電機能

テレビ消し忘れ防止 (P.35)：

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。

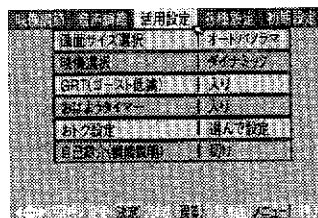
AV コンピューリングⅡ 機能を使わないときは

設定メニューの「各種設定」の「AVコンピューリングⅡ 端子」の設定を「使用しない」にしてください。(*P.65)

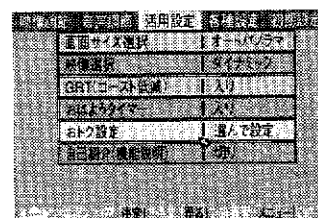
リモコンの電源ボタンを押して、テレビを待機状態にしたときの消費電力を抑えることができます。

3つの節電機能をすべて使うには

1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン (◀▶) で「活用設定」を選ぶ



2 カーソルボタン (▲▼) で「おトク設定」を選ぶ



選んでから



3 カーソルボタン (▲▼) で「すべて設定する」を選ぶ

おトク設定

すべて設定する

選んで設定する

設定しない

選んでから



画面には設定の内容が数秒間表示されます。

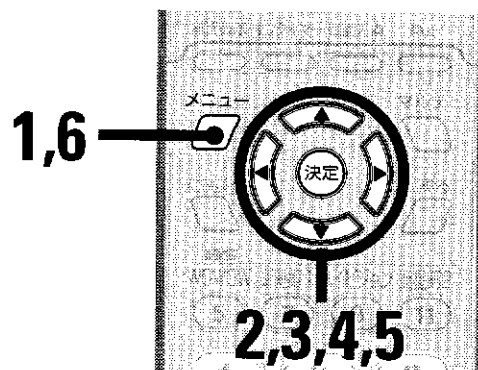
おトク設定 (すべて設定)

次のように設定しました

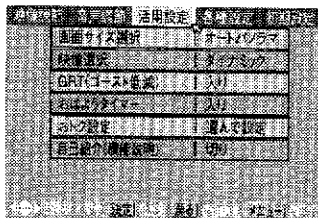
デジタル E.E.	：	標準
無信号電源オートオフ	：	する
深夜電源オートオフ	：	午前2時

テレビを使いこなす

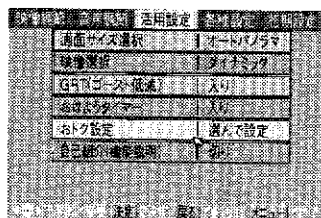
3つの節電機能から選んで使うには



- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン (◀▶) で「活用設定」を選ぶ



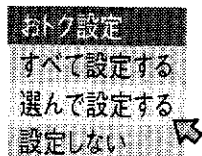
- 2 カーソルボタン (▲▼) で「おトク設定」を選ぶ



選んでから



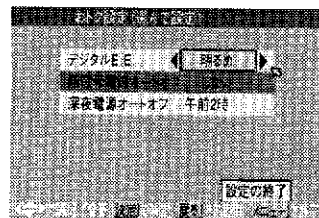
- 3 カーソルボタン (▲▼) で「選んで設定する」を選ぶ



選んでから



- 4 カーソルボタン (▲▼◀▶) で必要な項目を設定する



1 ▲▼で、を上下に移動し、設定する機能を選ぶ

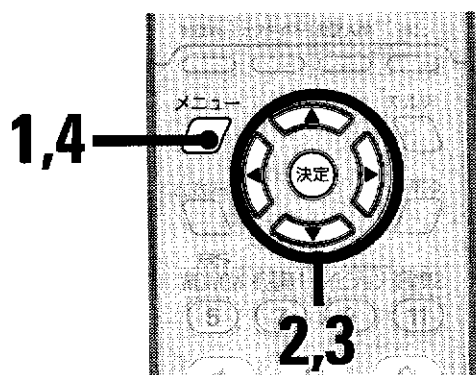
2 ◀▶で、設定値を選ぶ

- 5 カーソルボタン (▲▼◀▶) で「設定の終了」を選ぶ

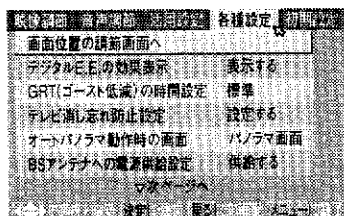
- 6 メニューボタンを押して終了する



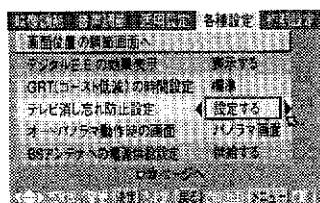
テレビの消し忘れを防止する



- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



- 2 カーソルボタン(▲▼)で「テレビの消し忘れ防止設定」を選ぶ



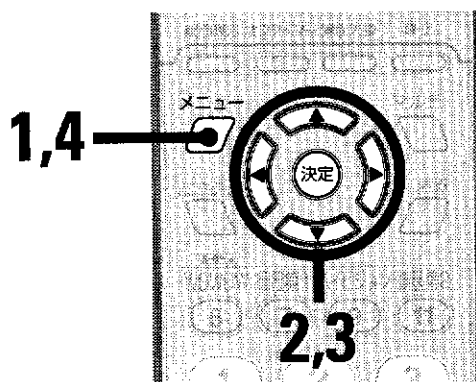
- 3 カーソルボタン(◀▶)で設定を選ぶ

- 「設定する」：何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。
- 「設定しない」：この機能を使わないときに選びます。

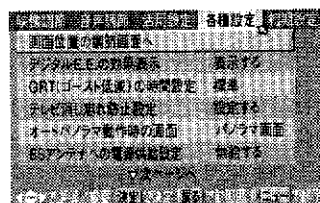
- 4 メニューボタンを押して終了する



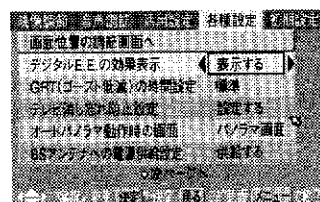
デジタルE.E.の効果表示をするには



- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



- 2 カーソルボタン(▲▼)で「デジタルE.E.の効果表示」を選ぶ



- 3 カーソルボタン(◀▶)で設定を選ぶ

- 「表示する」：部屋の明るさが変化したとき、デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。
- 「表示しない」：デジタルE.E.の効果のレベルを表示しないときに選びます。

- 4 メニューボタンを押して終了する



メニューボタンを押して終了する

シアタープロの設定

映像選択で「シアター」を選択しているとき、さらに細かい映像の調節ができるようになります。

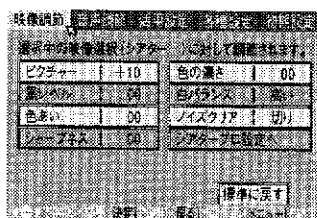
通常は標準設定（お買い上げ時の設定）のままで十分な画質になるよう調節がされています。

シアタープロの設定は、ご覧になる映像によりさらに細かな調節を行いたいお客様向けの機能です。設定できる項目は微妙な調節を行うため専門的な内容になっています。調節を行うときは少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら設定項目の内容を把握されることをお勧めします。



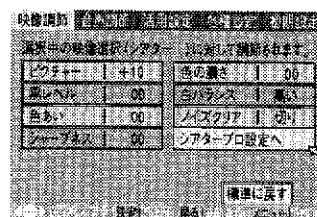
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン（◀▶）で「映像調節」メニューを選ぶ



2

カーソルボタン（▲▼）で「シアタープロ設定へ」を選ぶ

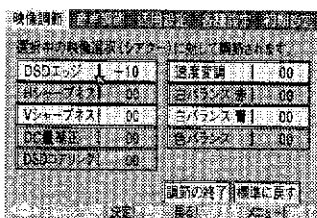


選んでから



3

カーソルボタン（▲▼◀▶）で調節したい項目を選択する



選んでから



4

カーソルボタン（◀▶）で調節する

例：「DSDエッジ」を選んだとき



例：「白バランス 赤」を選んだとき



数秒間、操作を行わないと、手順3の画面に戻ります。

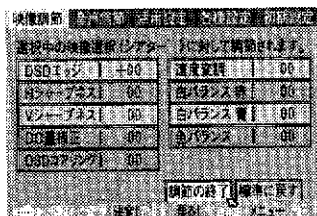
5

他の項目も調節するときには「戻る」ボタンまたは「決定」ボタンを押してシアタープロ設定画面に戻る

手順4から5をくり返して、他の項目を調節する。

6

調節が終わったらカーソルボタン(▲▼◀▶)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから



- 「標準に戻す」を選んで決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

7

メニューボタンを押して終了する

メニュー



「シアタープロ」の設定について

●DSDエッジ：

文字やイラストなどの輪郭部の明るさの变化を急峻にして映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。

(設定値：輪郭をつけない -30・・・+30 輪郭をつける)

●Hシャープネス、Vシャープネス：

映像の輪郭部に明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて輪郭を強調してはっきりとした映像にします。調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち不自然な映像になることがあります。

(設定値：輪郭を強調しない -30・・・+30 輪郭を強調する)

●DC量補正：

全体に明るい画面のとき、あるいは全体に暗い画面のときの黒の再現性を補正します。

「黒レベル」調節で画面を明るくすると、本来黒い部分が白っぽく感じたり、その反対に、暗くすると黒い部分がつぶれ気味になり見にくくなる場合があります。そのようなときには黒の再現性を調節してバランスをとってください。

(設定値：黒味を増やす -30・・・+30 黒味を減らす)

●DSDコアリング：

画面のざらざら感(ノイズ)を抑えるため、原因となる微少信号成分を除去します。よりノイズを抑えたいときに+側に調節します。

(設定値：あまりノイズを除去しない -5・・・+5 よりノイズを除去する)

●速度変調：

映像の縦線の輪郭強調度を調節します。通常は、忠実な映像でご覧いただくために、設定は「0」のままお使いください。

忠実な映像では、シャッキリ感が不足していると感じたときに、ほんのちょっと補正してください。

(設定値：補正しない 0・・・+15 補正する)

●白バランス 赤、白バランス 青：

映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。

調節するときには「白バランス赤」と「白バランス青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。

(設定値：赤みをつけない -30・・・+30 赤みをつける)

(設定値：青みをつけない -30・・・+30 青みをつける)

●色バランス：

肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。

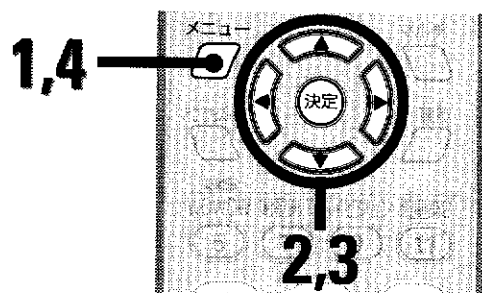
映像調節の「色合い」で肌色を調節すると他の色もわずかに変化してしまいます。

(例：肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかかった葉になってしまった。)このようとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます。肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。

(設定値：青みを弱くする -5・・・+5 青みを強くする)

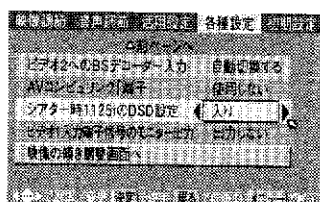
ありのままのハイビジョン映像を楽しむ

BSデジタルチューナーなどのハイビジョン(1125i)映像をご覧になるときに設定します。「切り」に設定すると、映像選択が「シアター」のときに補正の無い映像を楽しむことができます。



1 メニューボタンを押してからカーソルボタンで「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「シアター時1125iのDSD設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する

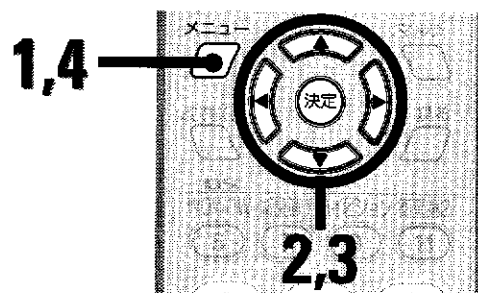
- 「入り」：通常は、「入り」にしてご使用ください。
デジタル処理により、クッキリとした輪廓でご覧いただけます。
- 「切り」：ハイビジョン(1125i)映像を補正することなくご覧になれます。

4 メニューボタンを押して終了する



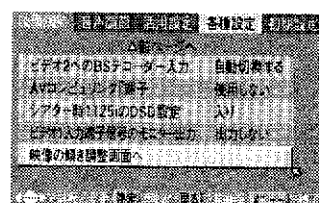
画面の傾きを調節する

地磁気による画面の傾きを調節します。地磁気の影響を受けると画面が傾くことがあります。このようなときに調節します。



1 メニューボタンを押してからカーソルボタンで「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「映像の傾き調整画面へ」を選ぶ



選んでから



3 カーソル(◀▶)で傾きを調節する



終わったら



- 「決定」ボタンを押すと、「各種設定」メニューに戻ります。

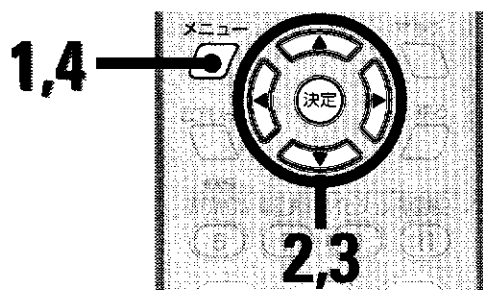
4 メニューボタンを押して終了する



地磁気補正

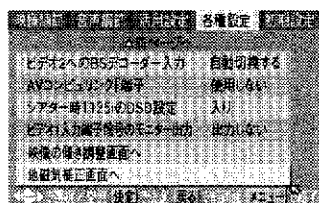
地磁気による色むらを軽減する

地磁気の影響を受けると画面に紫や緑の色がつくことがあります。このようなときは、色むらが少なくなるように補正してください。



1 メニューボタンを押してからカーソルボタンで「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「地磁気補正画面へ」を選ぶ



選んでから



3 カーソル(◀▶)で傾きを調節する



終わったら



- 画面の四隅が同じくらいの白さになるように調節します。
- 「決定」ボタンを押すと、「各種設定」メニューに戻ります。

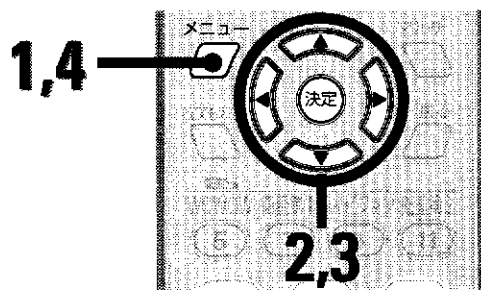
4 メニューボタンを押して終了する



自己紹介機能を使うには

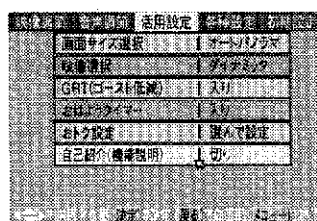
本機には自己紹介機能があります

本機の持っている機能を自動的に紹介してくれる機能です。



1 メニューボタンを押してからカーソルボタンで「活用設定」を選ぶ

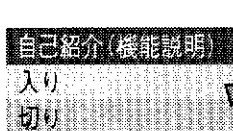
2 カーソルボタン(▲▼)で「自己紹介(機能説明)」を選ぶ



選んでから



3 カーソル(▲▼)で「入り」を選ぶ



選んでから

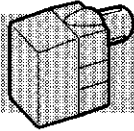


- 画面では自己紹介が始まります。
- 自己紹介機能を止めるには、もう1度手順1から3を行って「切り」を選びます。画面には「自己紹介(機能説明)を中止しました」と表示されます。

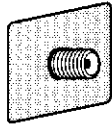
テレビを使いこなす

アンテナをつなぐ (VHF、UHFアンテナ)

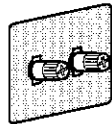
まず、はじめにVHF、UHFアンテナをつなぎます。一番近い例を選んで、接続してください。



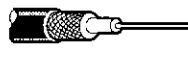
壁面アンテナ端子の形とアンテナ線の種類



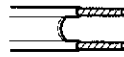
同軸ケーブル用端子



フィーダー線用端子



同軸ケーブル



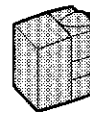
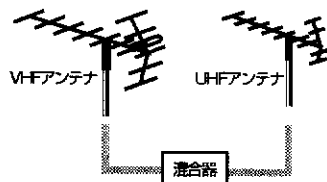
フィーダー線



F型コネクタ

※壁面アンテナ端子にF型コネクタが付いているときは、そのまま本機のアンテナ端子につなぎます。

VHFとUHFが混合されているとき

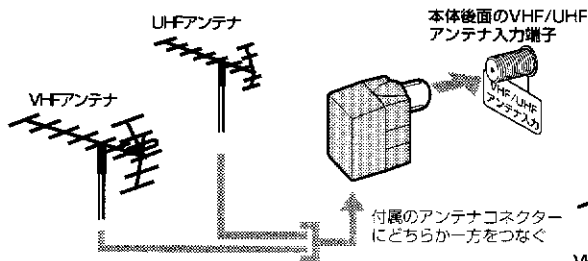


本体後面のVHF/UHF
アンテナ入力端子

付属のアンテナコネクタにつなぐ

VHFとUHFが別々になっているとき

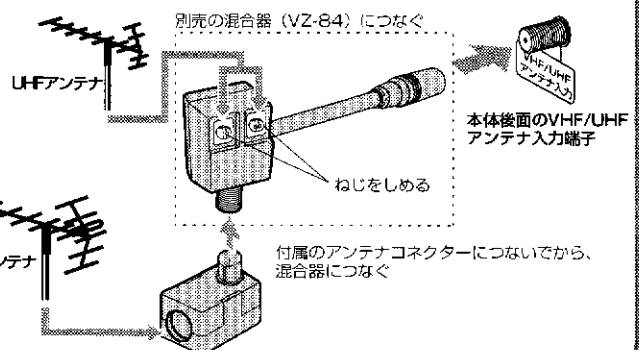
■ VHF、UHF のどちらか一方を接続する



本体後面のVHF/UHF
アンテナ入力端子

付属のアンテナコネクタにどちらか一方をつなぐ

■ VHF、UHF の両方を接続する



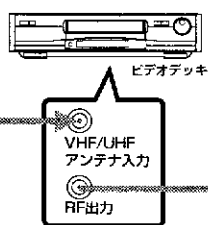
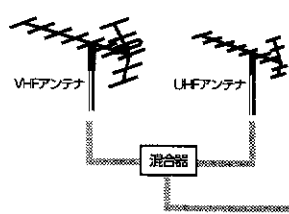
別売の混合器 (VZ-84) につなぐ

ねじをしめる

付属のアンテナコネクタにつないでから、混合器につなぐ

ビデオデッキを接続するとき

アンテナのケーブルはビデオデッキに接続し、ビデオデッキのRF出力からのケーブルを本機のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。



ビデオデッキ

VHF/UHF
アンテナ入力

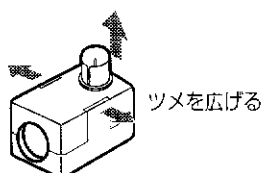
RF出力



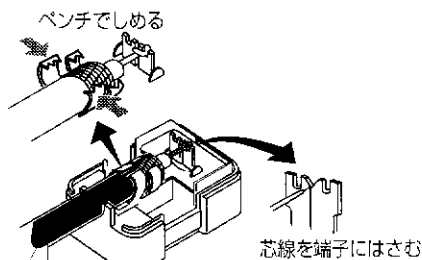
本体後面のVHF/UHF
アンテナ入力端子

■コネクターのつなぎかた

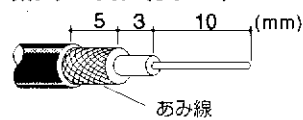
1 カバーを開ける



2 ケーブルをつなぐ



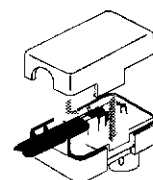
太いケーブル (5C-2V)



細いケーブル (3C-2V)



3 カバーをつける



アンテナの
接続と設定

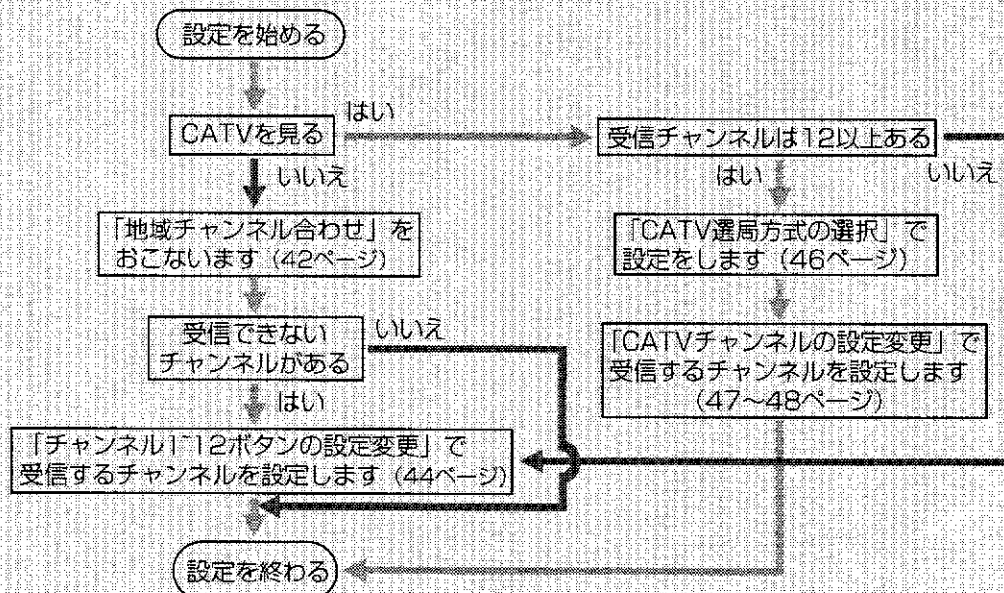
アンテナをつなぐときは

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナは定期的に点検・交換してください。特にはい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、サービス取扱所にご相談ください。

チャンネルを合わせる

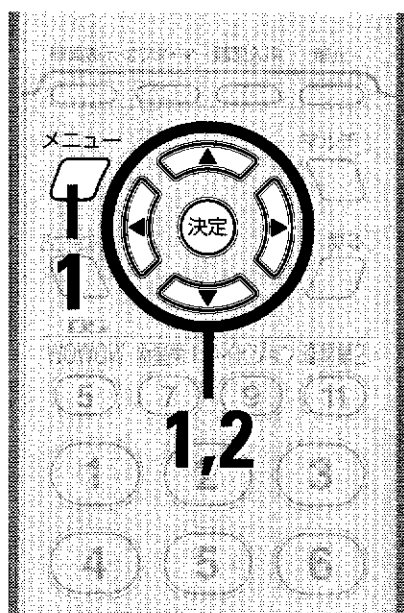
■チャンネル設定の手順

このテレビはお買い上げ時、VHFの1～12チャンネルが映るように設定されています。そのままではテレビが映らない場合は、下記の手順でチャンネルの設定をおこなってください。



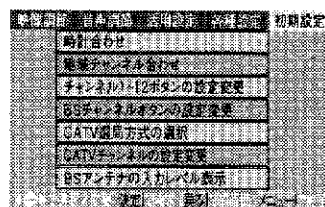
■地域の放送局を一括して設定する

お住まいの地域を選んで、放送局を一括して登録することができます。



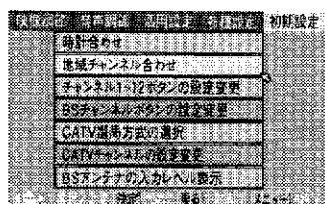
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる



2

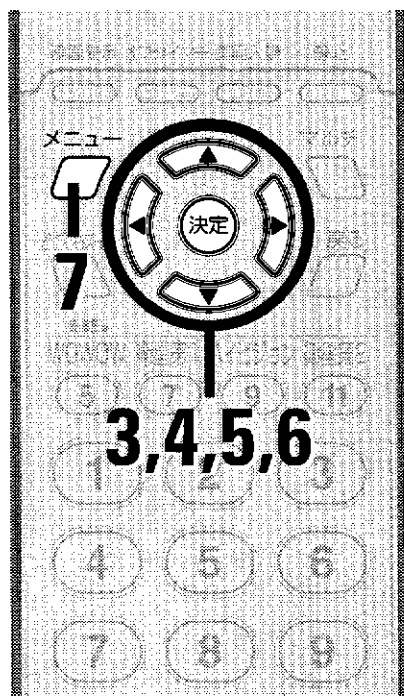
カーソルボタン(▲▼)を押して、「地域チャンネル合わせ」を選ぶ



選んでから



チャンネルを合わせる



お住まいの地域名がないとき

- 最も近い地域を選ぶ
近県または近隣の地域を選び、再度地域チャンネル合わせを行ってください。また、地域チャンネル合わせは、テレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。(※P.44)

ゴースト低減機能の設定

- 「入り」に設定されます(ビデオ用のチャンネルを除く)
「地域チャンネル合わせ」を行なうと自動的にGRT(ゴースト低減)設定は「入り」になります。
1または2チャンネルでビデオを見るときのために、1または2チャンネルのゴースト低減機能は「切り」に設定されています。

設定の操作を中止するには

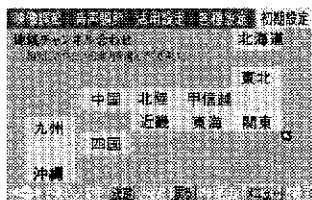
- 戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

八王子・横浜市にお住まいの方は

- 八王子市にお住まいの方で「はちおうじ」で放送が受信できないときは「23区」に設定してください。
- 横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定してください。

3

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、お住まいの地方を選ぶ

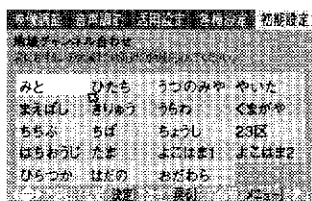


選んでから



4

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、お住まいの都市を選ぶ



選んでから



5

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、各チャンネルが受信できることを確認する



6

「地域チャンネル合わせ」が終わったらカーソルボタン(▼)ボタンを押して、「設定の終了」を選ぶ

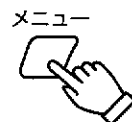


選んでから



7

メニューボタンを押して終了する

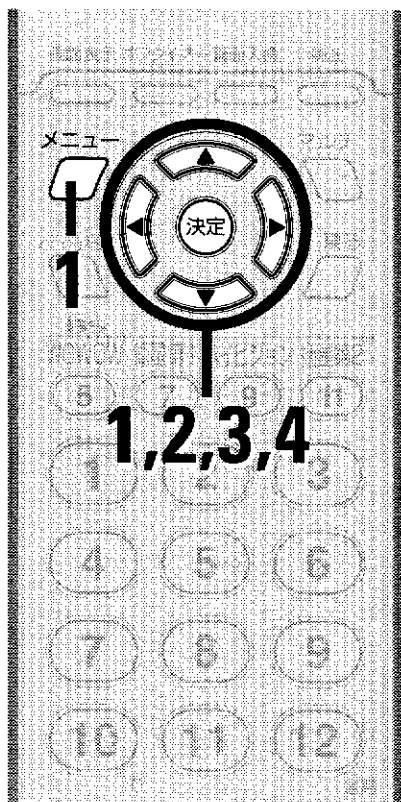


アンテナの
接続と設定

チャンネルを合わせる

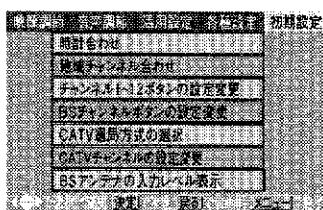
■放送局を個別に設定する

お住まいの地域が「地域チャンネル合わせ」で設定できないときに個別に登録する、空いているチャンネルにCATVチャンネルを割り当てる、受信状態が悪い放送局を受信できないようにするなどの設定ができます。



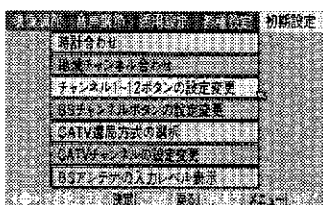
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる



2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「チャンネル1~12ボタンの設定」を選ぶ



選んでから

3

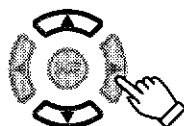
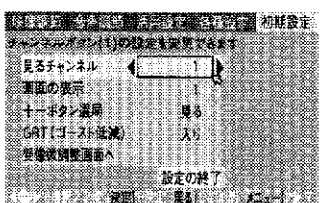
カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、設定したいリモコンチャンネルボタンを選ぶ



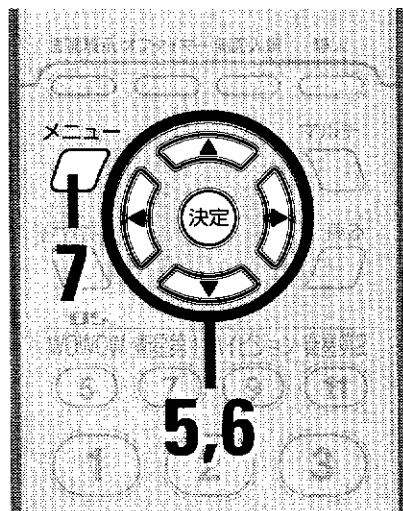
選んでから

4

カーソルボタン(▲▼)を押して、調節したい項目を選ぶ



チャンネルを合わせる



ゴースト低減機能が働かないとき

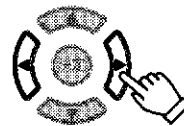
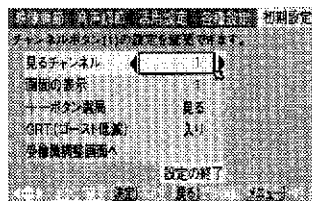
- GCR信号がないとき
 - 放送局からGCR信号が送られてきていないとき(平成11年4月現在、群馬テレビ、琵琶湖放送、BS放送、CS放送や、ほとんどのCATV放送は、GCR信号を送っていません。)
- ゴーストが変化したり、弱いとき
 - 飛行機などに反射して起こるゴーストや、常に違う方向から入ってくるゴースト、ゴーストが弱いときには働きません。

設定の操作を中止するには

- 戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

5

カーソルボタン(◀▶)を押して、項目の設定を変更する



- 受像微調整を調整するには
決定ボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で調整する。



チャンネル設定の項目について

- 見るチャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(1~12:VHF放送、13~62:UHF放送、C13~C38:CATV放送)
- 画面の表示
テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。
- チーボタン選局
チャンネル+チーボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「見ない」にします。
- GRT(ゴースト低減)
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。
1チャンネルまたは2チャンネルでビデオデッキの再生映像を見るときは、そのチャンネル(1チャンネルまたは2チャンネル)のGRT設定は「切り」にします。
- 受像微調整
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します)

6

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



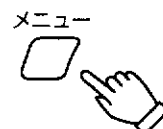
選んでから



- 他のリモコンチャンネルボタンの設定を変えるには
「設定の終了」を選ぶ前に、手順3から5をくり返して、変更したいリモコンチャンネルボタン調整する。

7

メニューボタンを押して終了する

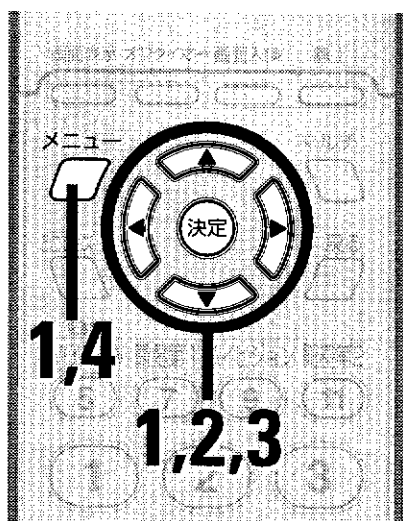


アンテナの
接続と設定

チャンネルを合わせる

■CATVチャンネルを直接選ぶ

CATVチャンネルのチャンネル番号を数字で直接入力して選局することができます。



CATVについて

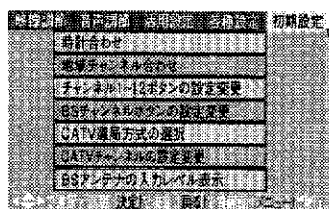
CATV（ケーブルテレビ）はサービスの行われている地域でだけ受信できます。CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

CATVを見るには

- 1 CATV会社と受信契約をする
詳しくはCATV各社にお問い合わせください。
- 2 CATVケーブルを接続する
ケーブルのつながりかたはCATV各社にお問い合わせください。
- 3 CATVのチャンネル合わせをする

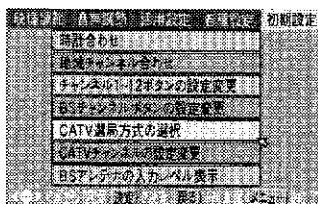
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン（◀▶）で「初期設定」メニューを表示させる



2

カーソルボタン（▲▼）を押して、「CATV選局方式の選択」を選ぶ

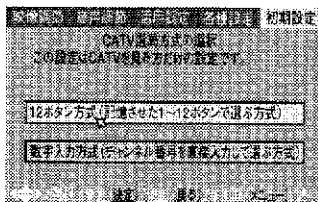


選んでから



3

カーソルボタン（▲▼）を押して、「数字入力方式」を選ぶ

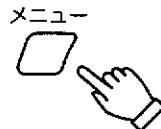


選んでから



4

メニューボタンを押して終了する



チャンネルの選びかた

● 見たいチャンネルを2桁の数字で選ぶ

「数字入力方式」を設定したときは、VHFやUHF、CATVチャンネルを受信するのに直接数字で選局します。

例：VHFの1チャンネルを選局するときは、0(10)、1と押します。

例：VHFの12チャンネルを選局するときは、1,2と押します。

例：CATVのチャンネル34を選局するときは、3,4と押します。

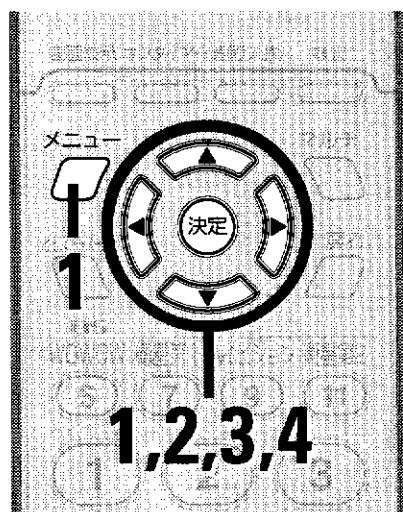
● お買い上げ時の設定に戻すには

リモコンの1～12ボタンで選局できるように戻すには、「12ボタン方式」を選びます。

チャンネルを合わせる

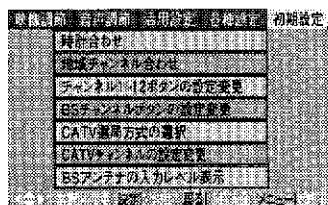
■CATVチャンネルを設定する

CATVチャンネルを選局するのに「数字入力方式」を設定したら、受信するCATVチャンネルの設定を行います。



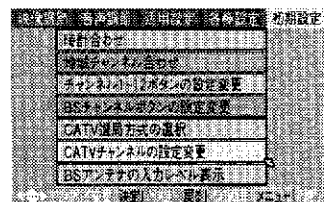
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」メニューを表示させる



2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「CATVチャンネルの設定変更」を選ぶ

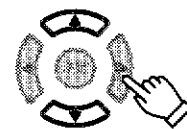


選んでから



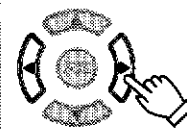
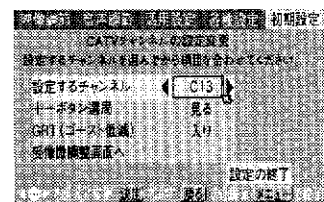
3

カーソルボタン(▲▼)を押して、調節したい項目を選ぶ



4

カーソルボタン(◀▶)を押して、項目の設定を変更する



- 受像微調整を調整するには
決定ボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で調整する。

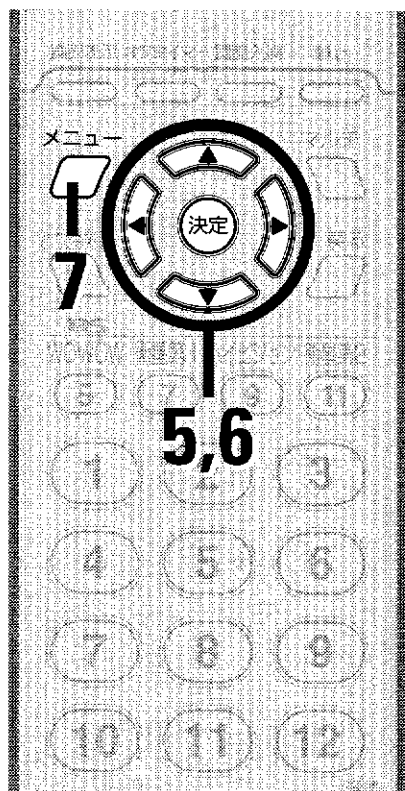


→次のページに続く

アンテナの
接続と設定

チャンネルを合わせる

■CATVチャンネルを設定する(つづき)



設定の操作を中止するには

- 戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

5

他のCATVチャンネルの設定も変更するときは

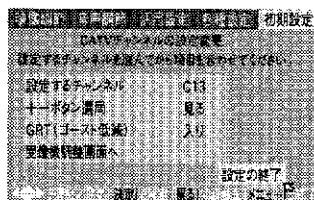
- 手順3から手順4をくり返し行って変更します。

CATVチャンネル設定の項目について

- 設定チャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(C13～C38:CATV放送)
- ナーボタン選局
チャンネル+/-ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「見ない」にします。
- GRT(ゴースト低減)
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。
- 受信微調整
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します)

6

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



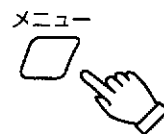
選んでから



- 他のリモコンチャンネルボタンの設定を変えるには
「設定の終了」を選ぶ前に、手順3から5をくり返して、変更したいリモコンチャンネルボタン調整する。

7

メニューボタンを押して終了する

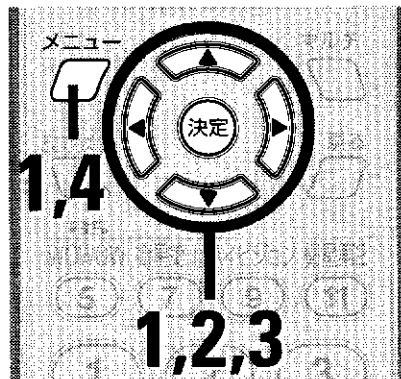
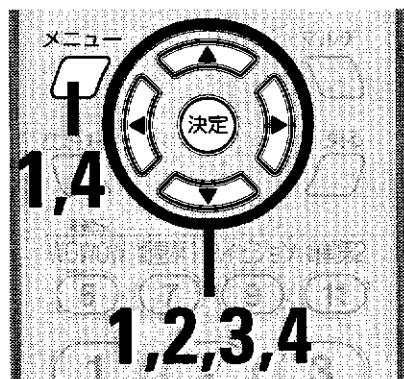


GRT(ゴースト低減)機能の設定

■「入り」「切り」を切り換える

■効果時間の設定

GRT(ゴースト低減)機能が「入り」のとき、ゴースト低減処理の映像を出す(短い)か、ある程度終わってから出す(標準)の切り換えをします。

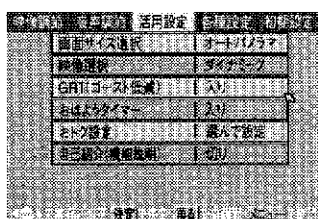


1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」メニューを表示させる

2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「GRT(ゴースト低減)」を選ぶ



選んでから



3

カーソルボタン(◀▶)を押して、「入り」「切り」を選ぶ



4

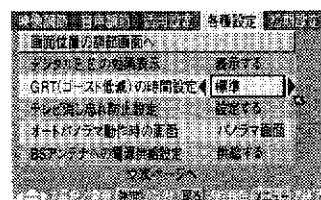
決定ボタンまたはメニューボタンを押して終了する

1

メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」メニューを表示させる

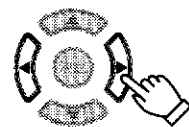
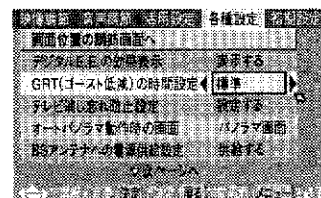
2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「GRT(ゴースト低減)の時間設定」を選ぶ



3

カーソルボタン(◀▶)を押して、設定時間を変更する



4

メニューボタンを押して終了する

アンテナの
接続と設定

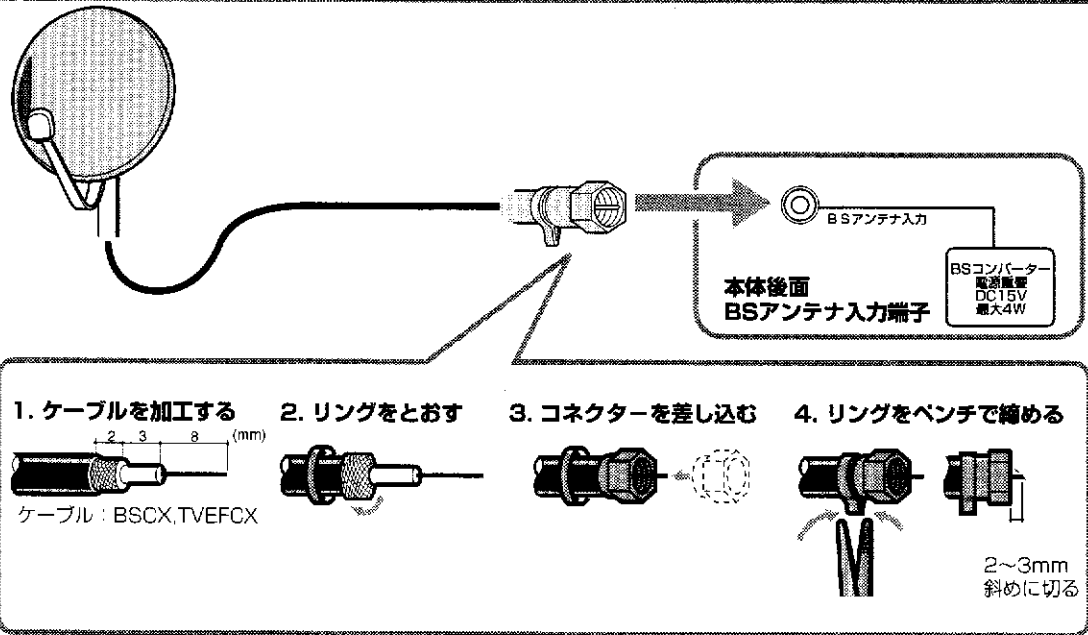
時間設定について

- 「標準」
通常はこの設定を選びます。
- 「短い」
ゴースト低減効果が現れるのが遅いと感じるとき、効果を確認しながらテレビをご覧になりたいときに選びます

BSアンテナをつなぐ

BSアンテナ（コンバーター付）をつなぎます。一番近い例を選んで、接続してください。

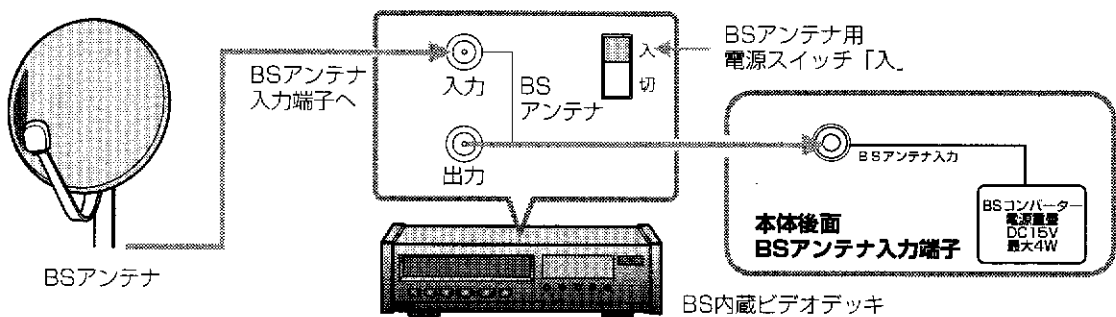
BSアンテナを接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- ① 設定メニューの「各種設定」の「BS アンテナへの電源供給」を設定する。(P.52)
- ② 設定メニューの「各種設定」の「BS アンテナへの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.53)
- ③ 必要ならば、「初期設定」メニューの「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(P.54)

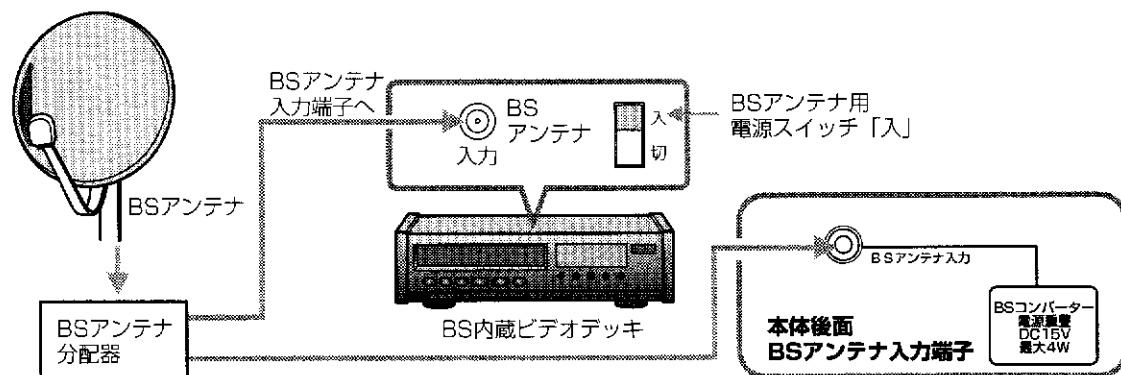
BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- ① 設定メニューの「BS設定」で「BSアンテナへの電源供給」を「供給しない」にする。(P.52)
- ② 設定メニューの「各種設定」の「BS アンテナへの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.53)
- ③ 必要ならば、「初期設定」メニューの「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(P.54)

BS内蔵のビデオデッキ (BSアンテナ出力端子なし) も一緒に接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

① 設定メニューの「BS 設定」で「BS アンテナへの電源供給」を設定する。(P.52)

● BS アンテナ分配器が両通電のとき:「供給する」にする。

このときは、本装置またはビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。

● BS アンテナ分配器が片通電のとき:「供給しない」にする。

このときは、ビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。

② 設定メニューの「BS 設定」の「BS アンテナの入力レベル表示」で、BS アンテナの向きを調節する。(P.53)

③ 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合わせ」の「BS チャンネルボタンの設定変更」で、BS チャンネルの設定を変更する。(P.54)

BS(衛星)放送について

日本の南西、赤道上空約36,000kmにある放送衛星を経由してテレビ電波を受信するシステムです。平成11年9月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。

BS5チャンネルはJSB (日本衛星放送株式会社) がWOWOWを、SDAB (衛星デジタル音楽放送株式会社) がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また専用のBSデコーダーが必要になります。

BS9チャンネルでは、ハイビジョンを放送していますが、このテレビでは受信できません。

BSアンテナをつなぐときは

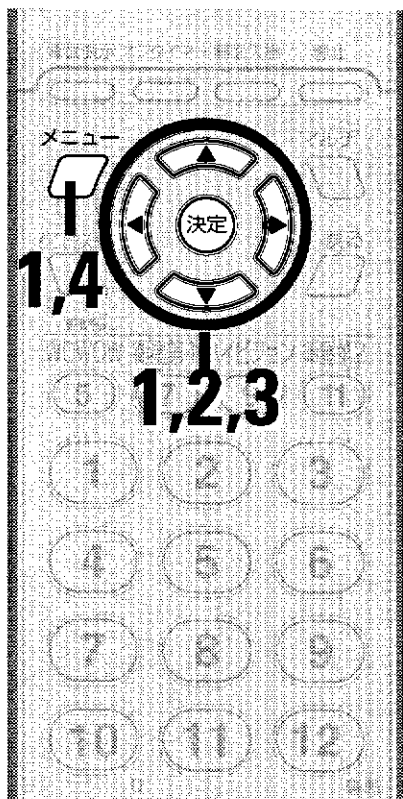
- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているとき
お住まいのマンション、集合住宅などで、共聴システムをお使いのときには分波器が必要です。ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

BS の設定をする

■BSアンテナに電源を供給する

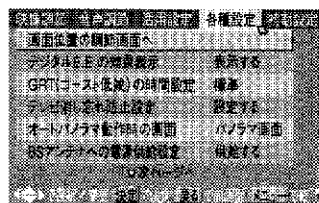
本機はBSアンテナに電源を供給できるようになっています。

「各種設定」メニューからBSアンテナに電源を供給するか、しないかの設定ができます。



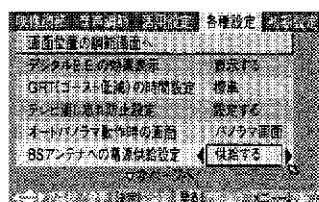
1

メニューボタンを押してから、カーソルボタンで「各種設定」メニューを表示させる



2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「BSアンテナへの電源供給設定」を選ぶ



3

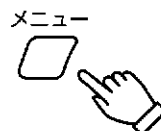
カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を変更する

BSアンテナへの電源供給設定について

- 供給しない
本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給しません。
マンションなどの共聴アンテナなどをお使いのときや、他のBS機器から電源を供給しているときに選びます。
- 供給する
本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給します。
ただし、本機の電源を切ったときには、電源は供給されません。
(リモコンの電源ボタンを押して、電源を切ったときに、BSジャックが「入り(BS固定)」になっていれば、BSアンテナ電源は供給されます。)

4

メニューボタンを押して終了する

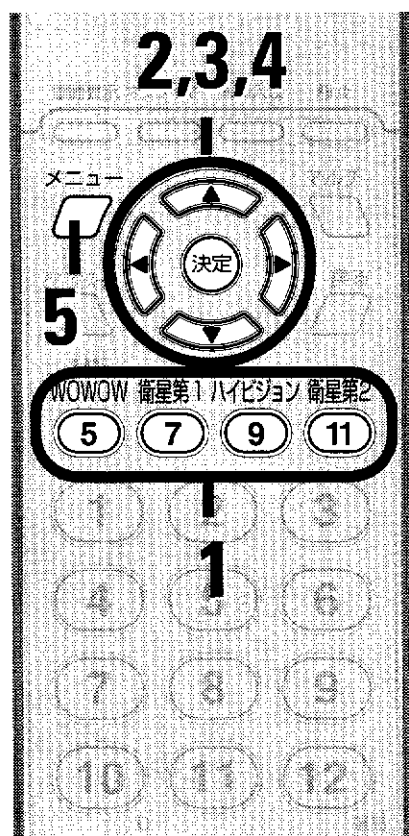


BS の設定をする

■BSアンテナの向きを調節する

本機はBSアンテナの向きを調節するときに、参考になるよう入力レベルを表示することができます。

「初期設定」メニューからBSアンテナに電源を供給するか、しないかの設定ができます。

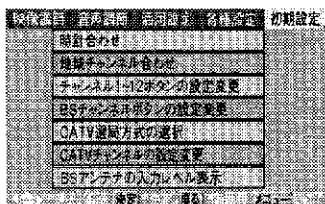


1

調節の前にBS放送のチャンネルを1局選ぶ

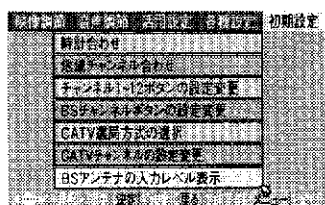
2

メニューボタンを押してから、カーソルボタンで「初期設定」メニューを表示させる



3

カーソルボタン(▲▼)を押して、「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぶ



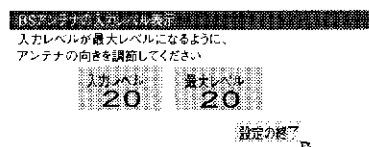
選んでから



4

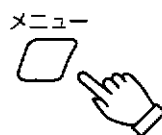
画面を見ながらBSアンテナの向きを調節する

画面上の「入力レベル」の数値が「最大レベル」に近づくように向きを調節します。



5

メニューボタンを押して終了する

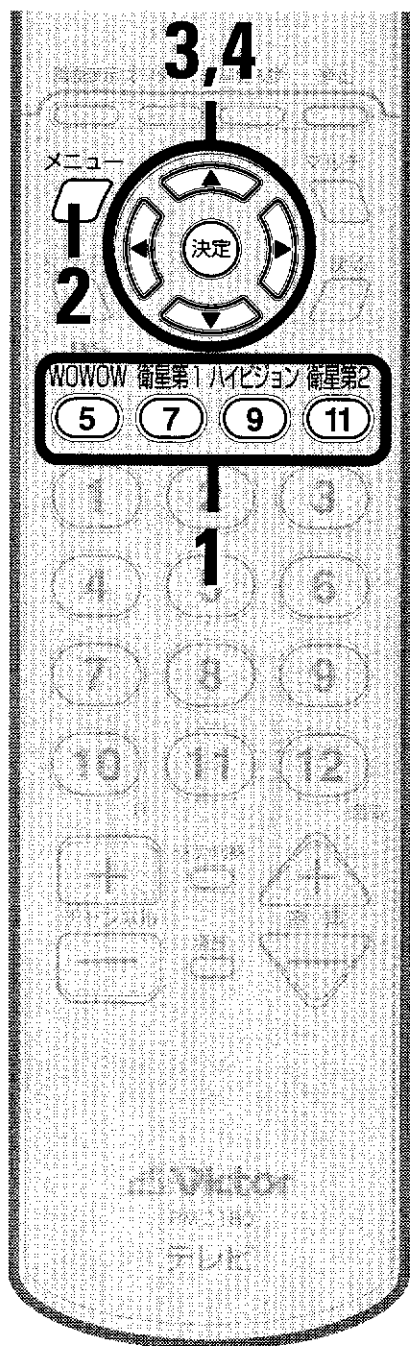


アンテナの
接続と設定

BS の設定をする

■BSチャンネルの設定を変更する

BSチャンネルの画面表示とBSチャンネルのスキップを設定します。
通常は設定を変更する必要はありません。



衛星第1	BS 7
衛星第2	BS 11
WOWOW	BS 5

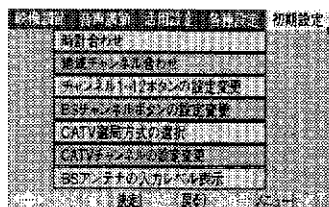
2000年5月現在

1

調節の前にBS放送のチャンネルを選ぶ

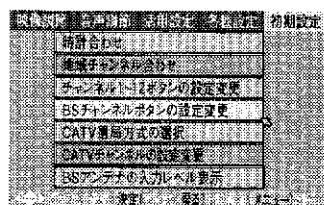
2

メニューボタンを押してから、カーソルボタンで「初期設定」メニューを表示させる



3

カーソルボタン(▲▼)を押して、「BSチャンネルボタンの設定変更」を選ぶ

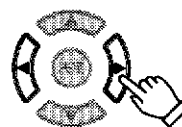
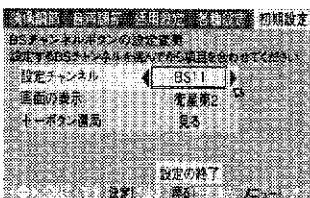


選んでから



4

カーソルボタン(◀▶)で必要な設定を変更する



BSチャンネルボタンの設定について

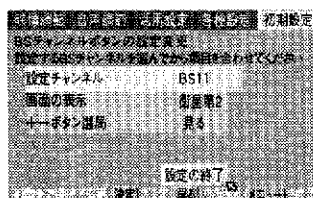
- 設定チャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(BS1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15)
- 画面の表示
テレビ画面の表示を選びます。
(表示なし、衛星第1、衛星第2、WOWOW、ハイビジョン)
- ナーボタン選局
チャンネル+/ーボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。
放送していないチャンネル(BS1, 3, 13, 15)や受信できないチャンネル(BS9)は、「見ない」にします。

BS の設定をする



5

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



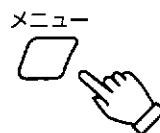
選んでから



- 他のBSチャンネルボタンの設定を変えるには「設定の終了」を選ぶ前に、手順1から5をくり返して、変更したいBSチャンネルボタン調整する。

6

メニューボタンを押して終了する



ハイビジョン放送は受信できません

リモコンボタンや画面表示に「ハイビジョン」の表示がありますが、このテレビではハイビジョン番組を受信することはできません。

BSチャンネルの選びかた

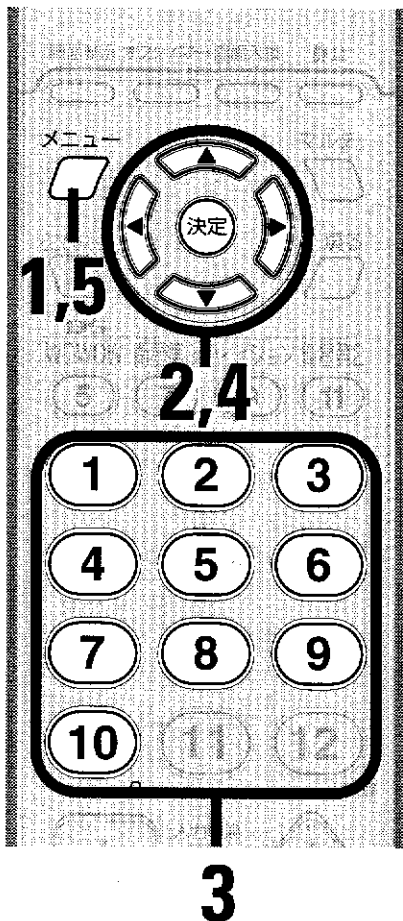
リモコンのふたを開けて、BSボタンを押し、続けて2つのチャンネルボタンを押します。

BS 1	BS → 10 → 1
BS 3	BS → 10 → 3
BS 13	BS → 1 → 3
BS 15	BS → 1 → 5

アンテナの
接続と設定

時計を設定する

本機は時計機能を内蔵しています。お買い上げになったら、お使いの前に必ず時計の設定を行ってください。時計の設定をしていないと「おはようタイマー」などの機能が使えません。

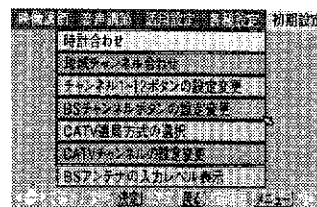


1

メニューボタンを押してから、カーソルボタンで「初期設定」メニューを表示させる

2

カーソルボタン(▲▼)を押して、「時計合わせ」を選ぶ

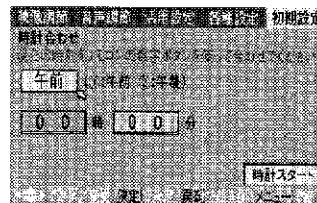


選んでから



3

数字ボタンを押して、時刻を設定する



時間設定について

- 午前・午後の設定
リモコンの数字ボタンで設定します。
午前なら①、午後なら②を押します。
- 時刻の設定
リモコンの数字ボタンで、現在時刻を入力します。

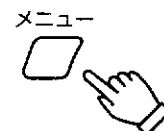
4

時報などに合わせて、決定ボタンを押す

時計が動き始めます

5

メニューボタンを押して終了する

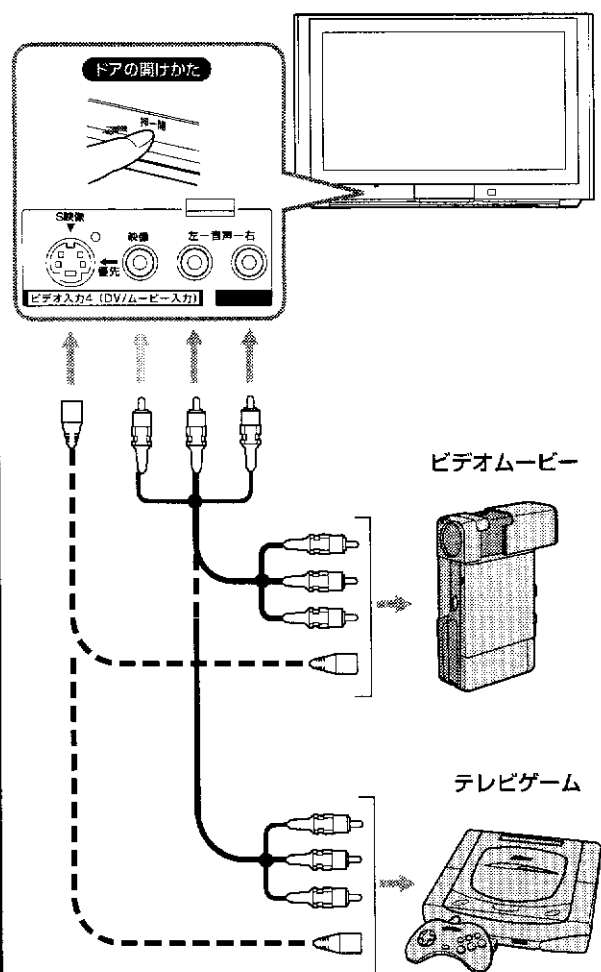


AV機器などを接続する

AV機器などを接続するには、それぞれの機器の電源を切ってから行います。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧下さい。

ビデオムービー/テレビゲームを接続する

本体前面



- ビデオムービーやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要な場合があります。詳しくは、ビデオムービーやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。
- S映像出力があるときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。映像コードも接続されているときにはS映像が優先されます。

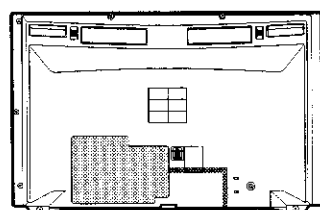
ビデオムービーやテレビゲームを楽しむには

「ビデオ4」に切り換わる
まで入力切換ボタンを何
回か押す
画面右上に入力切換の表示
がされます

入力切換
BS7
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
ビデオ5

接続できる機器

本体背面



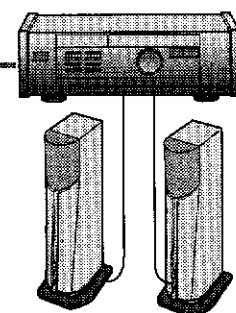
BSデジタルチューナーP. 61

ビデオデッキP. 58、60

BSデコーダーP. 59、60

DVDプレーヤーP. 62

D-VHSビデオデッキP. 63



オーディオシステムP. 64

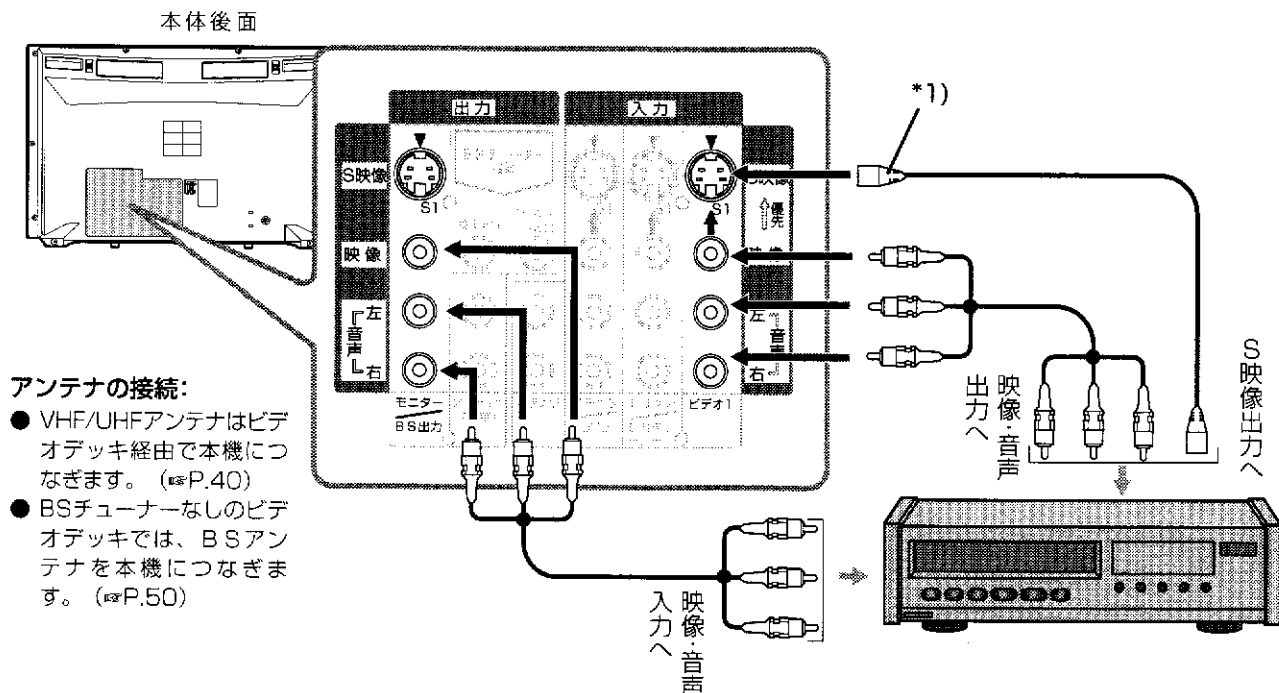
● MUSEデコーダーは接続できません。

AV機器を
つなぐ

ビデオデッキ

を接続する

*ビデオデッキの取扱説明書もお読みください。



*1) ビデオデッキにS映像出力があるときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。

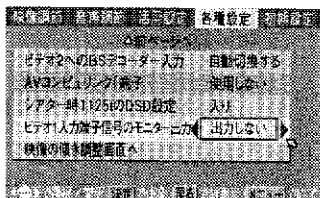
ビデオを見るときは

入力切替ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

AVコンピュリンクⅡ端子のあるビデオデッキは65ページをご覧ください。

ビデオ1を選んだとき、映像(単色)が周期的にみだれるときは

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「ビデオ1 入力端子信号のモニター出力」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「出力しない」を選ぶ



- 4 メニューボタンを押して終了する

BS放送を録画するには

BSチューナー内蔵のビデオデッキをお使いのときは、ビデオデッキ側の操作で録画できます。(この操作は必要ありません)

- 1 録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2 ビデオデッキの入力を切り換え、外部からの入力を録画できるようにする
- 3 ビデオデッキで録画の操作をする

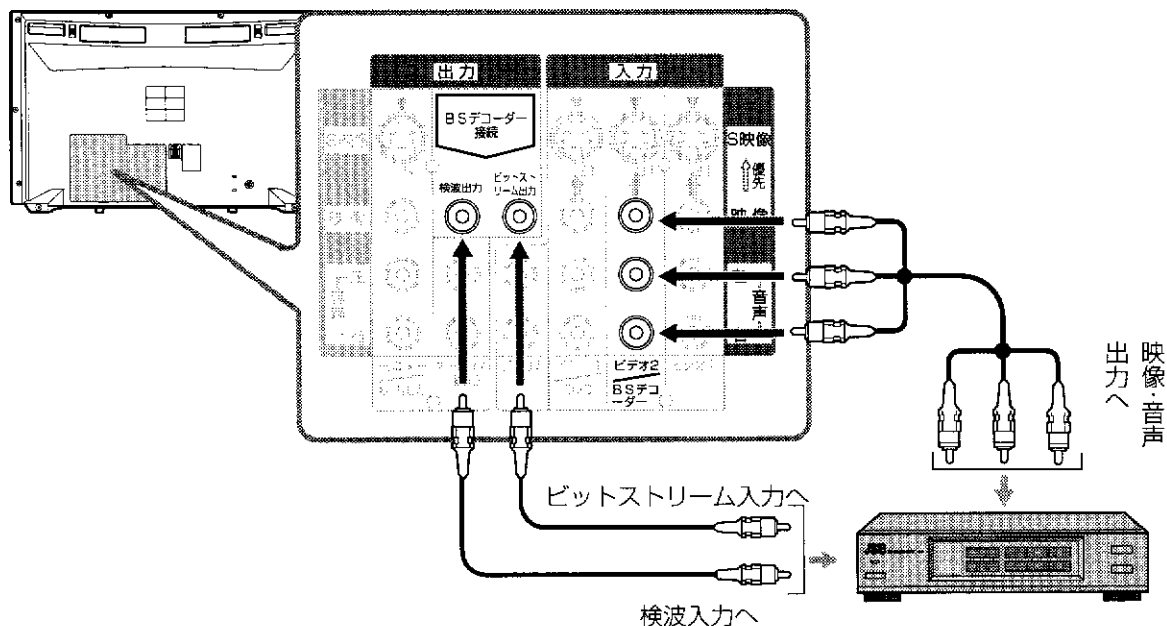
- ビデオデッキの操作については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

録画中にBSチャンネルが切り換わらないようにするには

1. 録画したいBSチャンネルを選ぶ
2. BSジャックボタンを押して、BSジャック「入り(固定)」を選ぶ
 - 本体表示窓のBSジャックランプが点灯します。
 - 録画が終わったらBSジャックボタンを押して、BSジャック「切り」を選ぶ。
 - BSジャックが「入り(固定)」のときは、BSチャンネルを変えることはできません。VHF/UHFを見たり、ビデオ入力を見ることができます。
 - BS放送を録画しながらテレビを見る(※P.27)もお読みください。

BS デコーダー を接続する

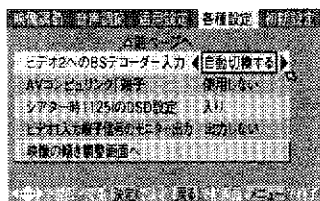
本体後面



接続後に次の設定をしてください

ビデオ2端子をBSデコーダーで使えるようにするには

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「使用する」を選ぶ



設定について

- 「自動切替する」：BSデコーダーを接続したときに選びます。
- 「常に使用する」：BSデコーダーで独立遠征を選んでもSt.GIGA放送が聞けないなど、BSデコーダー入力として固定したいときに選びます。
- 「使用しない」：ビデオ2の入力端子として使うときに選びます。

- 4 メニューボタンを押して終了する

基本操作

WOWOWを見るときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
●二重音声はBSデコーダー側で選びます。

St. GIGAを聞くとときは

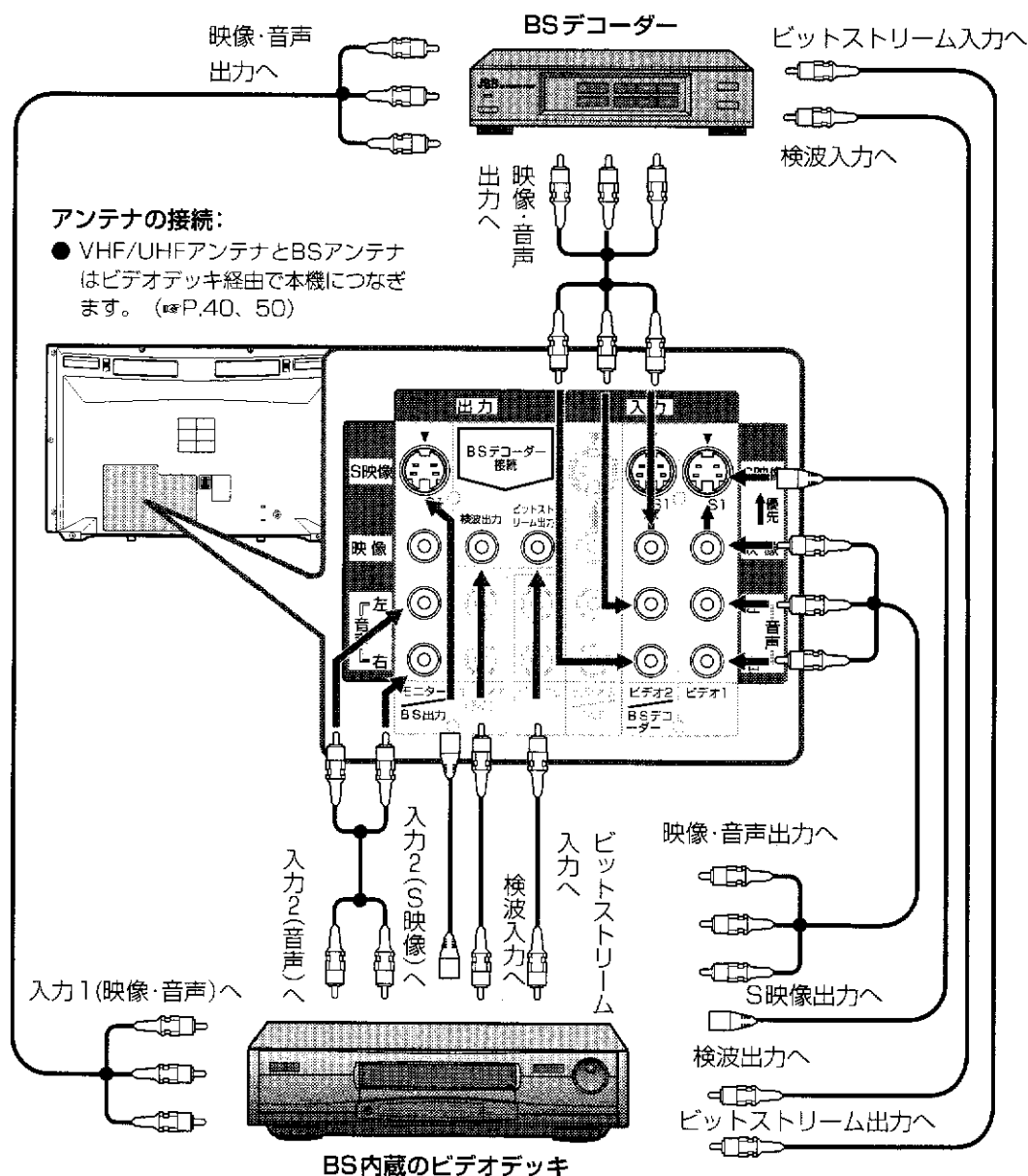
- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
●BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声は聞けないときは、設定メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切替する」に設定してください。

AV機器をつなぐ

BSデコーダー とBS内蔵 ビデオデッキ

を接続する

*接続するビデオデッキに外部BS入力端子（機種により名前が異なることがあります）がないときは、58ページ、59ページの方法で接続してください。



接続後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切替する」にする。(P.59)
- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(P.58)

ビデオを見るときは

入力切替ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

WOWOWを見るときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
 - 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

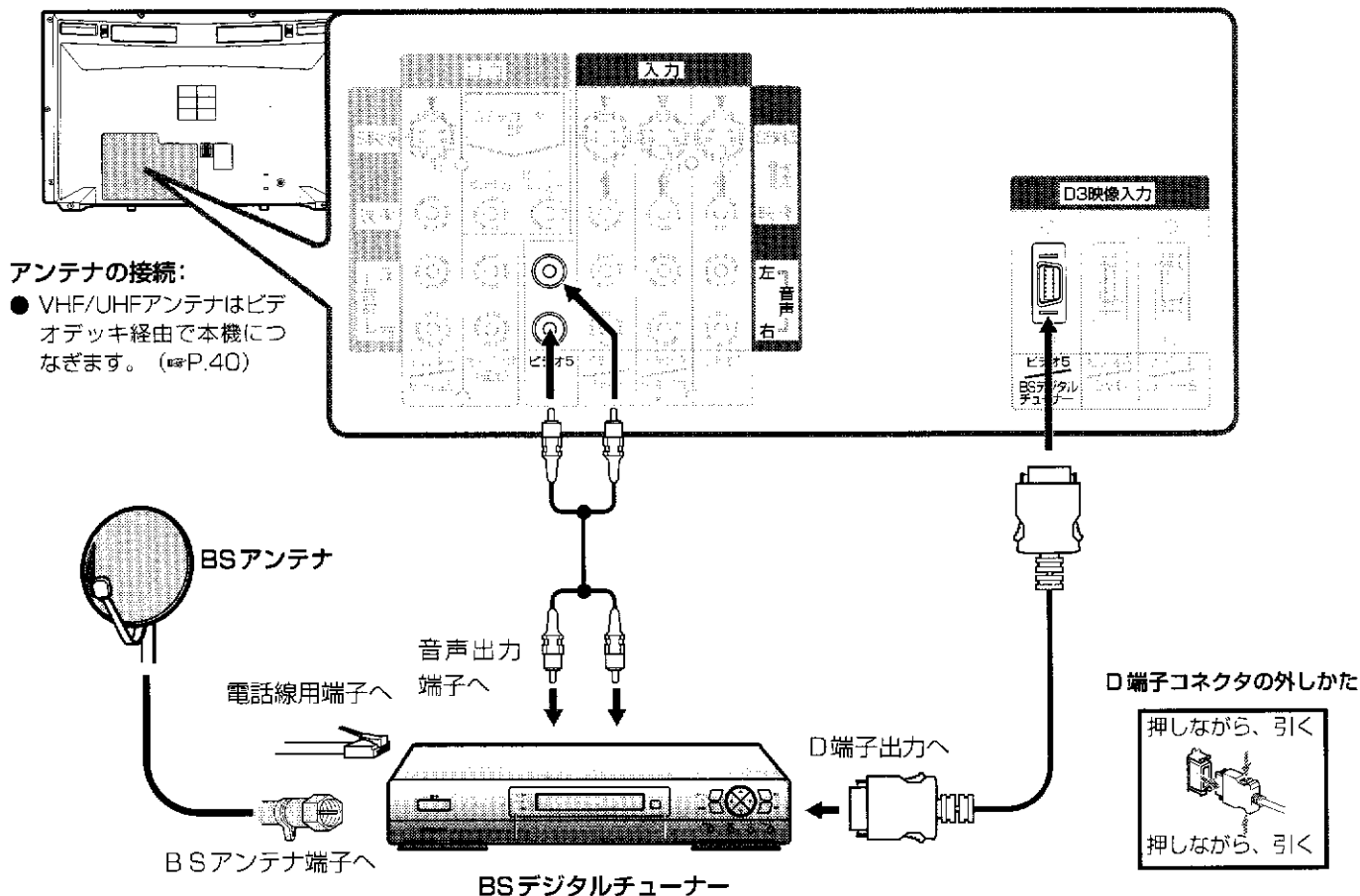
St. GIGAを聞くとときは

- 1 デコーダー電源ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
 - BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声がないときは、設定メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切替する」に設定してください。

BS デジタル チューナー

を接続する

本体後面



BSデジタル放送を見るには

- 1 デジタルチューナーの電源ボタンを押し、電源を入れる
- 2 入力切換ボタンを押して「ビデオ5」を選ぶ
 - ビデオ5入力端子はD3端子専用の入力端子です。D端子が接続されていないと選ぶことはできません。
- 3 BSデジタルチューナー側でBSデジタルチャンネルを選ぶ

- BSアンテナをBSデジタルチューナーにつなぐので、本機ではBSチャンネルを受信できなくなります。
- BSデジタルチューナーのD端子が、D4やD5の場合はD3出力になるように設定してください。

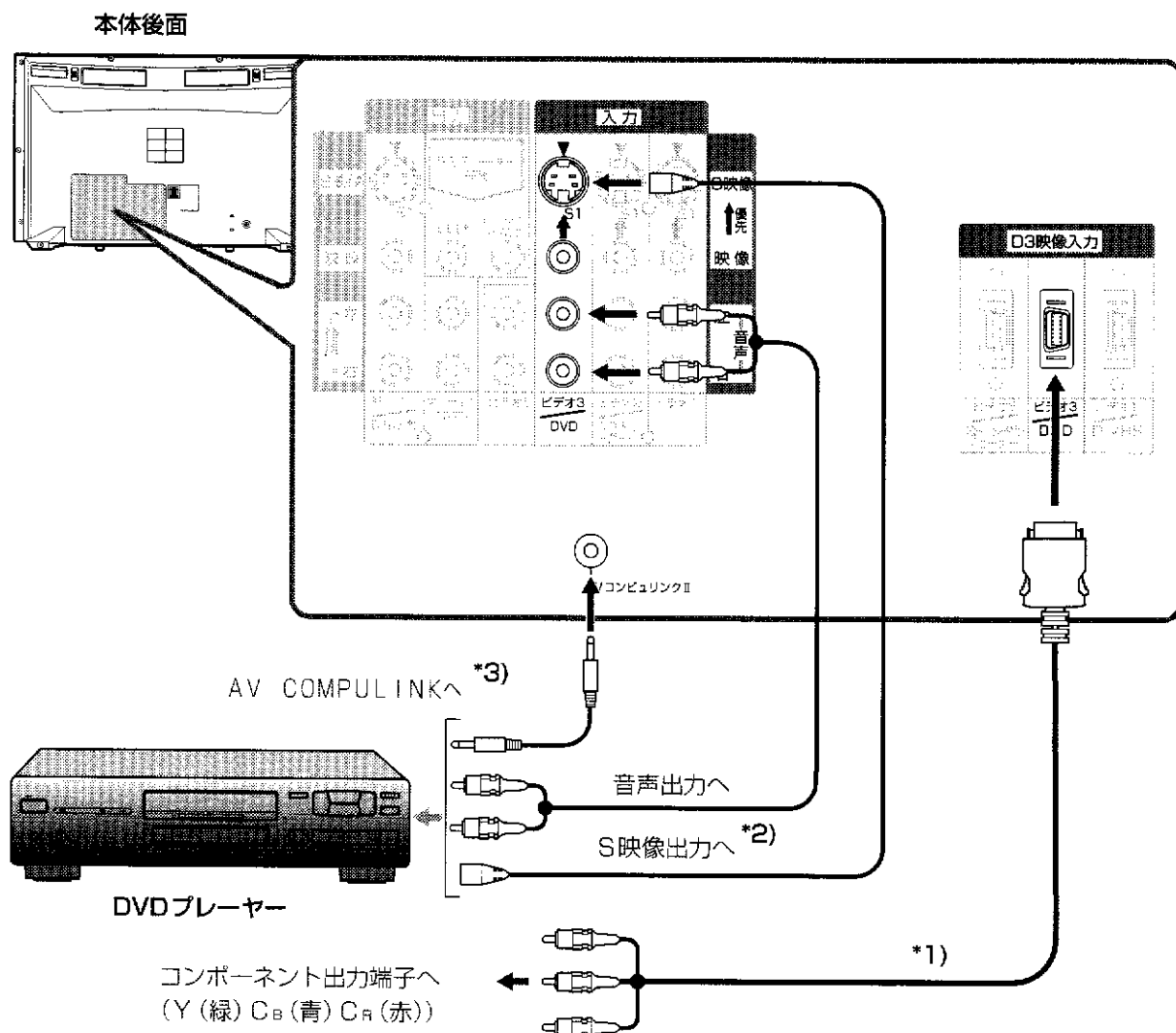
画面サイズについて

- ハイビジョン(1125i)の映像信号を受信したとき画面サイズは自動的に「フル」になります。
- プログレッシブ(525p)の映像信号を受信したとき画面サイズは次のように自動的に切り換わります。
 - ・ 16:9の映像の場合: 「フル」になります。
 - ・ 劇場サイズの映像の場合: 「シネマ」になります。
 - ・ 通常の4:3の映像の場合: 「ノーマル」になります。
 画面サイズが自動的に切り換った後で、オートパノラマ以外の中から、好きな画面サイズを選ぶことができます。
- 標準(525i)の映像信号を受信したとき画面サイズは次のように自動的に切り換わります。
 - ・ 16:9の映像の場合: 「フル」になります。
 - ・ 劇場サイズの映像の場合: 「シネマ」になります。
 - ・ 通常の4:3の映像の場合: 「設定メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。
 画面サイズが自動的に切り換った後で、好きな画面サイズを選ぶことができます。

つなぐ
AV機器を

DVD プレーヤー

を接続する



- *1) DVDプレーヤーのコンポーネント出力端子が、D端子のときは両端がDコネクタのコードをご使用ください。
- *2) コンポーネント出力端子を接続しているときでも、S映像コードを接続しておくと、画面サイズを自動で切り換えることができるようになります。
- *3) ピクチャー製のAVコンピュリンク端子があるDVDプレーヤーを接続するときにつなぎます。AVコンピュリンクコードがないときは、モノラルミニプラグ付接続コード（別売り：CN-120A）をご使用ください。
AVコンピュリンクについては65ページをお読みください。

接続後に次の設定をしてください

- DVDプレーヤーのマルチアスペクト（画面サイズ）をワイド画面用の設定にしてください。
詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDを見るときは

入力切替ボタンを押し、「ビデオ3」を選びます。

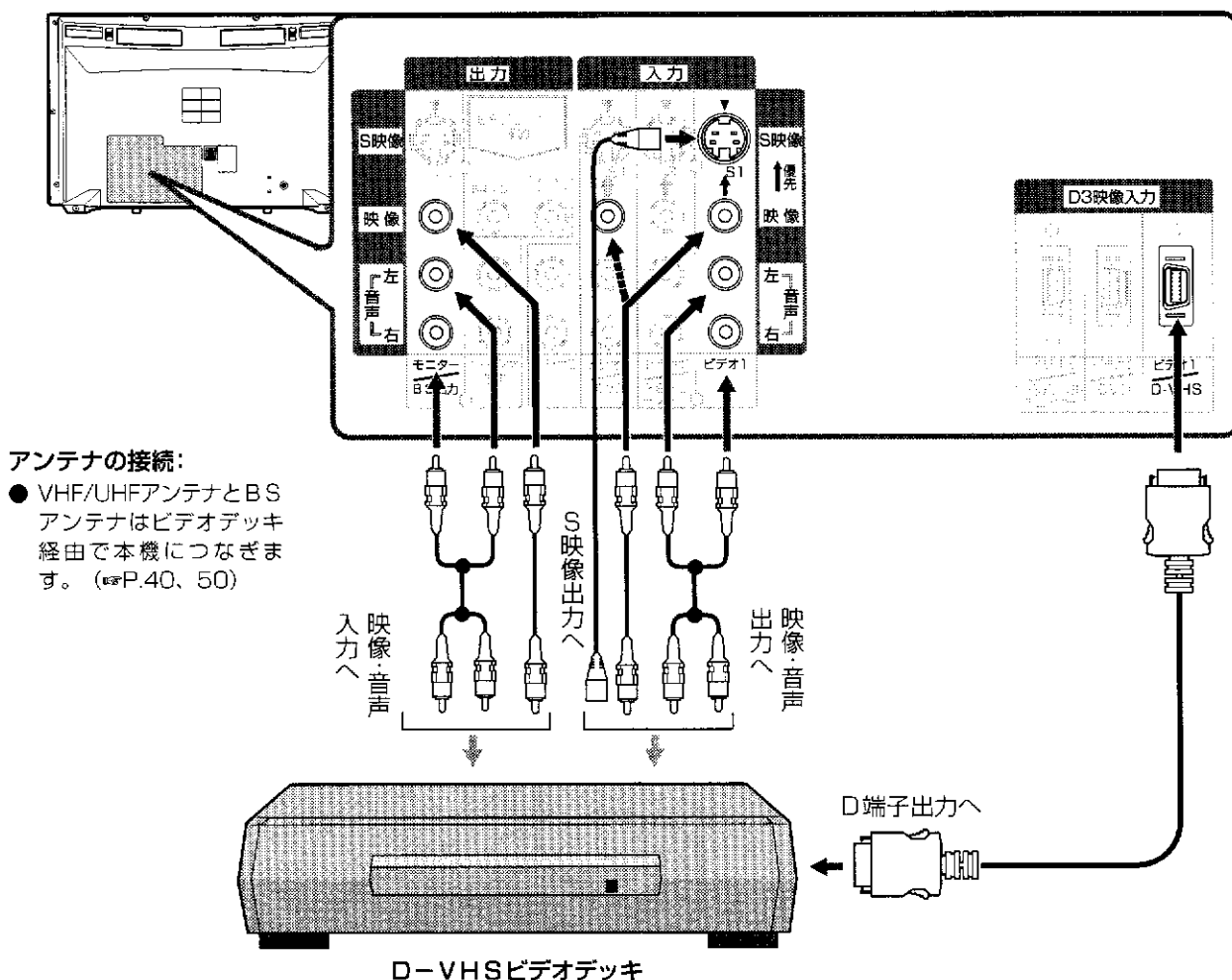
D-VHS を接続する

D端子があるときは

D端子コードと音声コードを接続します。

D端子コードがないときは、S端子コードと音声コードを使って接続します。

本体後面



接続後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(P.58)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

HM-DR 10000(ビクター製D-VHSビデオデッキ)を接続するときの注意

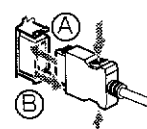
D端子コードで接続するとD-VHSビデオデッキの画面表示が出なくなります。

ビデオ3などに映像コードを接続し、入力切換を「ビデオ3」などに切り換えて操作を行ってください。

AVコンピュリンクⅡ端子のあるビデオデッキは65ページをご覧ください。

D端子の取付、外しかた

①押しながら、取り付ける



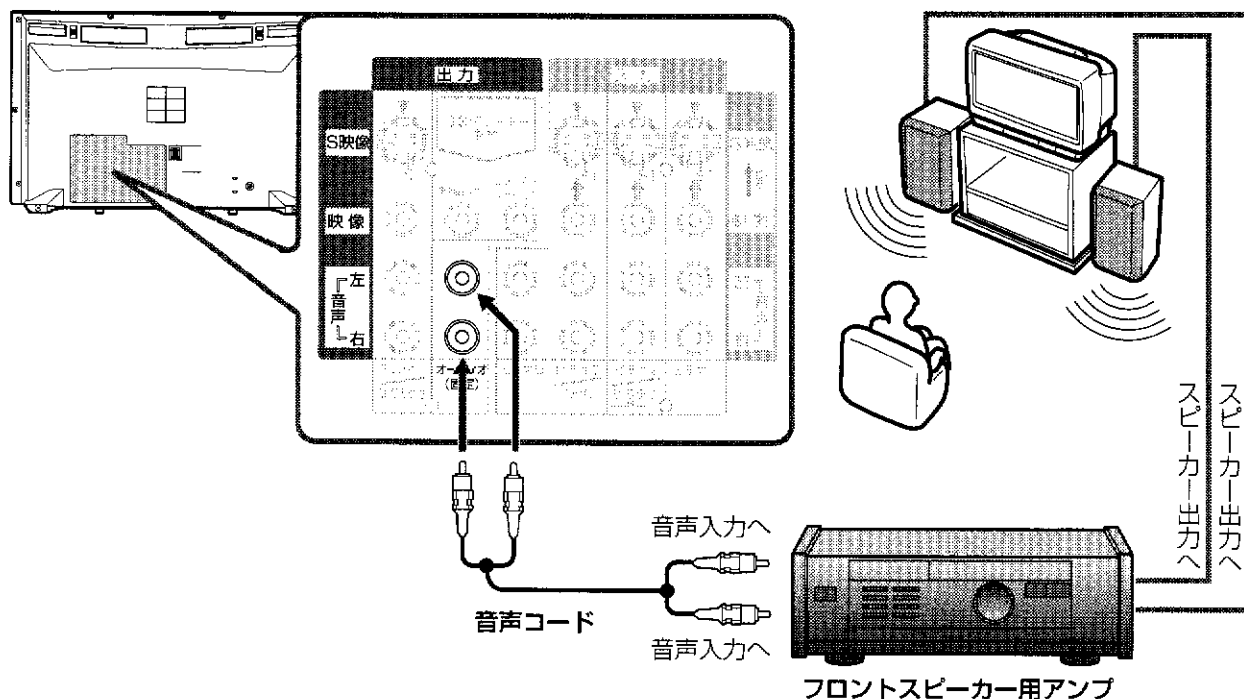
②押しながら、取り外す

つなぐ
AV機器を

アンプ (オーディオ システム)

を接続する

別売りのアンプとのスピーカーでステレオ音声を楽しむことができます。



オーディオシステムでステレオ 音声を楽しむには

詳しくは、アンプ(オーディオシステム)の取扱説明書をご覧ください。

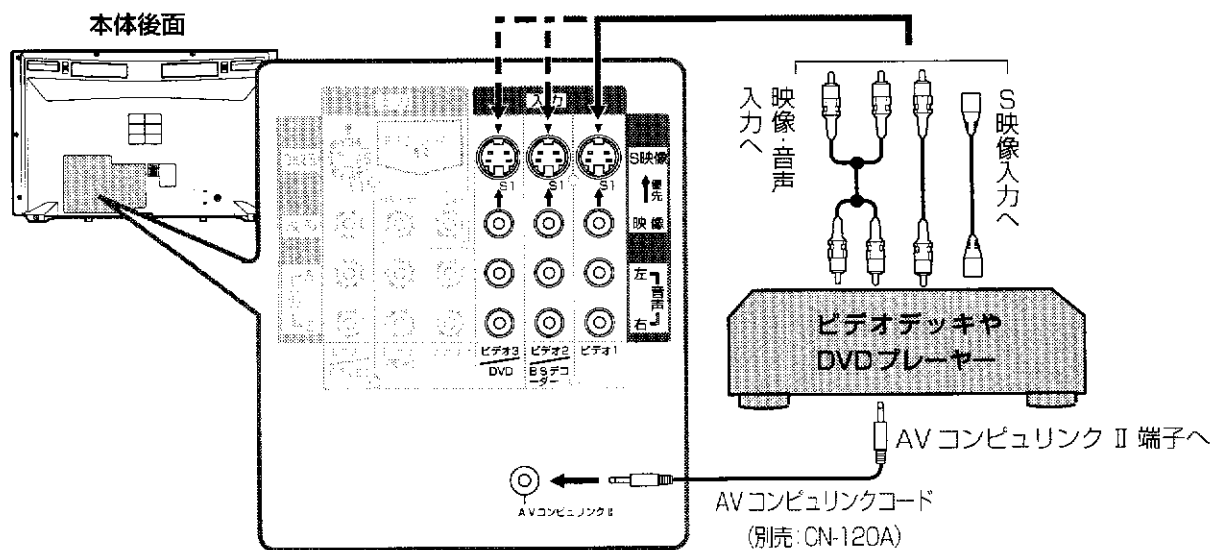
- 1 アンプ(オーディオシステム)の電源を入れる
- 2 アンプ(オーディオシステム)のソースセクター(入力切換)で本機の音声を選ぶ
- 3 アンプ(オーディオシステム)で音量を調節する

スピーカーについて

- スピーカーは防磁タイプのものでお使いください。
- スピーカーをテレビに近づけすぎないでください。スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色むらがでることがあります。スピーカーはテレビから20~30cm以上離して置いてください。スピーカーを離して置いても色むらがでるときは、いったん電源を切り、約30分間そのままにしておきます。その後、再び電源を入れます。

AVコン ピューリンク II

を接続する



AVコンピューリンク II とは

AVコンピューリンクII端子のあるビデオデッキやDVDを専用のコードで接続することで、操作の手間をはぶくことができます。

AVコンピューリンク II でできること

ビデオデッキのとき

ビデオデッキ側の操作	テレビの動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る
再生の操作をする	ビデオ入力が切替わる
B Sチャンネルを選ぶ	B Sチャンネルに切替わる
B Sチャンネルのタイマー録画	B Sジャックが「入り (B S 固定)」になる
電源を切る	ビデオデッキ側の操作で、B Sジャックが「入り (B S 固定)」になっていたとき、B Sジャックは「切り」になる

DVDプレーヤーのとき

DVDプレーヤーの再生操作をする	テレビの電源が入る ビデオ入力が切替わる
------------------	-------------------------

AVコンピューリンク II を使えるようにするには

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「AVコンピューリンク II 端子」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「使用する」を選ぶ
- 4 メニューボタンを押して終了する

ビデオデッキの設定 (機器の取扱説明書もお読みください)

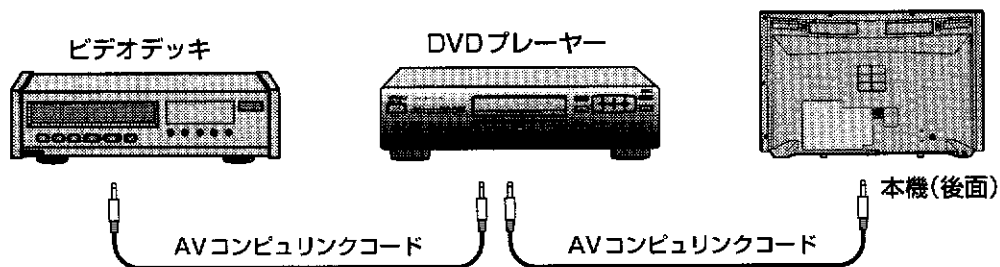
ビデオデッキのリモコンコードの設定をAコードに設定する (ビデオデッキをビデオ1入力に接続したとき。ビデオ2入力に接続したときは「Bコード」に設定します。)

DVDプレーヤーの設定 (機器の取扱説明書もお読みください)

DVDプレーヤーのAVコンピューリンクモードを「DVD1」に設定します。(ビデオ3入力に接続したとき。ビデオ1入力に接続したときは「DVD2」、ビデオ2入力に接続したときには「DVD3」に設定します。)

ビデオデッキとDVDプレーヤーの両方を接続するには

DVDプレーヤーには、2つのAVコンピューリンクII端子がありますので、DVDプレーヤーを経由するかたちで接続します。



つなぐ
AV機器を

故障かな?と思う前に

症状とその原因と対処方法 (Q & A)

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症 状

A 原因と対処 (参照ページ)

●電源が入らない

- 電源プラグがはずれていませんか？

(P. 10)

- 本体の電源ランプは点灯していますか。点灯していない場合は、まず本体の電源ボタンを押し電源ランプを点灯させてください。電源ランプが点灯していれば、リモコン側の電源ボタンで電源を入れられます。

●リモコンで操作できない

- 本体の電源ランプが赤く点灯していますか。点灯していなければ、本体の電源ボタンを押してください。(P.14、16)

- リモコンのボタンを押したときに、リモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。(P.14～P.15)

●正常に動作しない

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

●VHF/UHFが映らない

- アンテナは正しく接続されていますか。(P.40)

- チャンネル合わせは済んでいますか。(P.42～P.45)

●CATVが映らない

- 受信契約はお済みですか。

- ケーブルは正しく接続されていますか。

- チャンネル＋／－ボタンで選べないときは、「＋／－ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。

(P.47、48)

●BSが映らない

- BSアンテナは正しく接続されていますか。(P.50)

- BSアンテナの向きが変わっていませんか。(P.53)

- コンバーターに電源が供給されていますか。(P.52)

Q 症 状

A 原因と対処(参照ページ)

●BS有料放送が映らない

- BSデコーダーは正しく接続されていますか。
(P.59、60)
- BSデコーダーの電源は入っていますか。
(P.59、60)
- 設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」は「自動
切換する」または「常に使用する」になっていますか。(P.59)

●「ビデオ5」が選べない

- 本機後面のビデオ5入力端子に何も接続されていないとき
は、「ビデオ5」は選べません。

●色が出ない、おかしい

- 色あいや色の濃さの調節がズれていませんか。映像調節をや
り直してください。(P.29)
- 受信周波数がズれていませんか。設定メニューの「チャンネ
ル合わせ」で「受像微調整」を試してみてください。(P.45)

●音が出ない

- ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになってい
ませんか。
- 消音ボタンを押していませんか。(P.17)

●音声重なって聞こえる

- 二重放送の音声「主+副音声」になっていませんか。
(P.31)

●音声切り換えられない

- 設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を確認し
てください。設定が「自動切換する」または「常に使用する」に
なっているときは、BSデコーダーでしか音声の切り換えが
できません。(P.59)
- BSジャックが「入り(BS固定)」のときは、音声は切り換え
られません。(P.27、58)

●チャンネルを選ぶときの 動作がおかしい

- CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定され
ているときは、CATV以外のチャンネル選局も2桁入力にな
ります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネ
ル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(P.46)

●接続したビデオ機器からの 映像、音が出ない

- ビデオ機器は正しく接続されていますか。(P.58～P.62)
- 正しいビデオ入力を選んでいませんか。(P.17)
- ビデオ機器の電源は入っていますか。

故障かな?と思う前に

症状とその原因と対処方法 (Q&A) (つづき)

Q 症 状

●突然電源が切れた

- オフタイマーを設定していませんか。(P.17)
- 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(P.33)
- テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(P.33)

●画面表示が消えない

- ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいませんか。入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.17)

●BSチャンネルが選べない

- BSジャックランプが点灯していませんか。BSジャックが「入り(BS固定)」のときは切り換えられません。録画が終わってからBSジャックを解除してください。(P.27)

●映像が2重・3重になる (ゴースト)

- チャンネル設定で「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしましたか。(P.43、45)
ただし、「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしても、ゴーストを完全に消すことはできません。

●2画面表示にならない

- 左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映すことはできません。
- 左右の画面で同時にBS放送を見ることはできません。

●静止画にならない

- 番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。

●裏番組画面が表示できない

- D3入力端子(ビデオ1、3、5)からの映像を見ているときは裏番組表示にすることはできません。

こんなときは故障ではありません

- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。色付きが消えるまでには少し時間がかかる場合があります。色付きが起る場合は、ピクチャーの設定を10程度下げること色付きを軽減できます。(●P.29)
- 部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
- 磁石やスピーカーやブースターなどを近づけたとき、画面が揺れたり色むらが出る場合があります。これは磁気の影響を受けているためで故障ではありません。
- ワイドテレビは、地磁気の影響を受けやすいため、画面の映像が右下がりあるいは左下がりに傾くことがあります。これは、故障ではありません。
- ※ 本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る

- アンテナは正しく接続されていますか。
- 屋外のアンテナ線が切れたり、はすれたりしていませんか。
- アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。

画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)

- ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。

画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)

- 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因
■ ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。	● 画面サイズがノーマル(4:3)の場合、「画面位置の調節」項を決定したとき。
■ CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。	● CATVチャンネルの設定でCATV選局方式が12ボタンのとき。
■ ヘッドホン音声に対して、この操作はできません。	● ヘッドホン音声に対し、音量調節以外(音場効果や音声切換など)の操作を実行したとき。
■ ビデオ2入力になっていますので、この設定はできません。	● ビデオ2入力モードの場合、「ビデオ2へのBSデコーダー入力」項を決定したとき。
■ BS放送にしてから、この設定を選んでください。	● BS以外の入力モードの場合、TV/独立、BSジャック、BSアンテナ入力レベル表示、BSアンテナへの電源供給を操作/決定したとき。
■ BSジャック機能が(入り)になっていますので、この操作はできません。	● BSジャックが「入り」になっている場合、BSチャンネル切換・TV/独立・BS音多・BSデコーダー入力設定・BSアンテナ電源を操作しようとしたとき。
■ BSアンテナに不具合があります。 BSアンテナ、コード、端子などを調べてください。	● BSアンテナ電源がショートしている場合。
■ マルチ画面のとき、この操作はできません。	● 2画面、裏番組、番組一覧モードの場合、画面サイズを操作したとき。 2画面の右側に対して音声切換えが押されたとき。ナチュラルシネマを「入り」にしようとしたとき。
■ 2画面のとき、同じビデオ入力を映すことはできません。	● 2画面モードの場合、左右画面に同じビデオ入力を選択しようとしたとき
■ 静止画中のため、この操作はできません。	● 静止画の場合、操作画面を選択したとき
■ BS放送を2つ以上出すことはできません。	● 2画面、裏番組で両画面にBS放送を出そうとしたとき
■ 無信号のためまもなく電源が切れます。	● 無信号電源オートオフが働く3分前のとき、無信号でなくなるまでメッセージは消えない。
■ 無操作のためまもなく電源が切れます。 続けてみる場合は音量ボタンを押して下さい。	● 何も操作しない状態が3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能により、オフする3分前のとき、何かのボタンが押されるまでメッセージは消えない。

メッセージ

原因

■ BSチャンネルを固定しました。	●BSジャック機能を「入り」にしたとき。
■ 設定時刻になりますのでまもなく電源が切れます。 続けて見るばあいは音量ボタンを押して下さい。	●深夜電源オートオフの設定時刻の3分前になったとき。
■ 時計が設定されていけませんので、使えません。 メニューの初期設定で時計合わせをして下さい。	●時計が設定されていないときにおはようタイマーを使おうとしていたとき。
■ Bモード音声中です。	●BSモード放送のとき。TV／独立ボタンを押したとき。
■ デコーダーで設定してください。	●WOWOWの音声切替をしたとき。
■ 現在のモードではこの操作はできません。	●ビデオ時に音声切替しようとしたとき等。 ●525pを見ているときにナチュラルシネマが押されたとき。 ●1125iを見ているときにナチュラルシネマが押されたとき。
■ 映画に最適な映像設定にしました。	●映画ボタンが押されたとき。
■ 映画モードが解除されました。	●映画ボタンが解除されたとき。
■ ナチュラルシネマモードにしました。	●ナチュラルシネマボタンが押されたとき。
■ ナチュラルシネマモードが解除されました。	●ナチュラルシネマが解除されたとき。
■ 表示できないモードです。	●D端子から525i、525p、1125i以外の信号が入っているとき。
■ どこでもズーム機能をデモしています。拡大したいところに枠を合わせます。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を終わるにしてください。	●「どこでもズーム」の自己紹介(機能説明)中のとき
■ 2画面機能をデモしています。 左右カーソルを押すと画面の大きさが変わります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を終わるにしてください。	●2画面機能の自己紹介(機能説明)中のとき
■ デジタルE.E.機能をデモしています。 リモコン受光部に手を当てると効果がわかります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を終わるにしてください。	●「デジタルE.E.」の自己紹介(機能説明)中のとき
■ GRT(ゴースト低減)機能を紹介しています。 中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を終わるにしてください。	●「GRT」の自己紹介(機能説明)中のとき
■ 自己紹介(機能説明)を中止しました。	●自己紹介(機能説明)を終了したとき
■ おはようタイマー設定時刻になりました。	●おはようタイマーの設定時刻になったとき(電源が入ったとき)。
■ シアター時1125iのDSD設定が切りになっていますので、この調節はできません。	●活用設定で「シアター時の1125iのDSD設定」が切りになっている状態で映像設定のシャープネスを選択したとき。

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな？と思う前に」（P.66～69）にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	ビクターカラーテレビ
型 名	AV-32AD1 または AV-28AD1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせて
お 名 前	() -
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ

お買い上げの販売店

() -

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店にご依頼ください

ご贈答品等保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼にならない場合は、最寄りのご相談窓口にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道				
北海道	札幌SC	(011)898-1180	004-0005	札幌市東区東五条1丁目2-29
	苫小牧SS	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川SC	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見SS	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路SC	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広SS	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
北海道	函館SS	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭4番16号 函館あおぞら生命ビル1F
東北				
青森県	青森SC	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸SS	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前SS	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手県	盛岡SC	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地蔵24-1
	水沢SS	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田県	秋田SC	(0188)24-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館SS	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手SS	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道町3-6
宮城県	仙台SC	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁目の目越町7-13
	石巻SS	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字西谷地8-18
山形県	山形SC	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田SS	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
	郡山SS	(0249)52-6331	963-0205	郡山市堤1-3
福島県	いわきSS	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上町1字松町19-4
	会津若松SS	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44
	福島SS	(0245)53-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1 ハイツシンフォニー101号
関東				
新潟県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代会2-13-27

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
関東				
新潟県	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	新潟SC	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡SS	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下条2-1366-1
新潟県	上越SS	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
	【出張修理専門】のご相談窓口			
長野県	首都圏SC	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代会2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長野SC	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
長野県	松本SS	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
	【出張修理専門】のご相談窓口			
群馬県	首都圏SC	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代会2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
群馬県	前橋SC	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
栃木県	首都圏SC	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代会2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
栃木県	宇都宮SC	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
	【サービス関連すべて】のご相談			
茨城県	土浦SC	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸SS	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉町1077
千葉県	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(056)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代会2-13-27
千葉県	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	甲府SS	(0552)37-4016	400-0864	甲府市馬田2-11-5

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
千葉	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季5-12-10-67
	浦安S.S.	(0473)53-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
東京	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
東京	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
東京	首都圏メンテ			
	ナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイイツ山B
埼玉	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
神奈川	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区鶴町1-3-1
	横浜西S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横浜西町久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平3-2 (第2石原ビル)
神奈川	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-45
	相模原S.C.	(0427)76-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市由良6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市高井町16-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春日町 丸之内平野田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字可原西31
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
	三河S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀本2-15-2
三重	津S.S.	(0592)29-7780	514-0815	津市大字磯方485-18
	富山S.C.	(0764)25-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西堀第3-211
近畿				
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋賀S.S.	(0775)82-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
京都	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
近畿				
京都 北部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
奈良	奈良S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小幡町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊伽ハイツ
大阪	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
和歌山	田辺S.S.	(0739)24-0124	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫 東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28
兵庫 東部	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
神戸	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫 西部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地町11-1
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.C.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	古賀町外瀬町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
高松	高松S.C.	(0878)66-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(0899)23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0896)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神寺2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神津1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木崎町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市悠徳町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志志1-13-16
山梨				
山梨 根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)			
		(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所 サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
山梨 根	浜田営業所 サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
	鳥取営業所 サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1

0800

こまだったときは

索引

アルファベット／数字

AVコンピュリンクⅡ	65
BEE	30
BSアンテナ	50
BSアンテナの入力レベル表示	53
BSアンテナの接続	50
BSアンテナへの電源供給	52
BSジャック	58, 27
BSチャンネルの設定変更	54
BS電源オートオフ	33
BS録画	58
CATVチャンネル設定変更	47
CATVチャンネル選局方式	
12ボタン方式	46
数字入力方式	46
CATV選局方式	46
D3映像端子	75
GRT（ゴースト低減）機能	49

A行

安全上のご注意	2
転倒防止の処置	7
アンテナの接続	40
映像選択	
ゲーム	28
シアター	28
シアター時の設定	38
スタンダード	28
ダイナミック	28
映像調節	
色あい	29
色の濃さ	29
黒レベル	29
シャープネス	29
白バランス	29
ノイズクリア	29
ピクチャー	29
映像の傾き調整	38
おトク設定	33
おはようタイマー	32
音声調節	
BEE	30
高音	30
左右バランス	30
低音	30

力行

各部のなまえ	12
本体前面	12
本体後面	13

画面サイズ選択	21
画面サイズの種類	20
字幕パノラマ	20
ノーマル	20
パノラマ	20
フル	20
シネマ	20
故障かな？と思う前に	66

サ行

索引	74
シアタープロの設定	
DSDエッジ	37
DC量補正	37
DSDコアリング	37
Hシャープネス	37
Vシャープネス	37
色バランス	37
白バランス 青	37
白バランス 赤	37
速度変調	37
仕様	裏表紙
接続	
AVコンピュリンクⅡ	65
BSアンテナ	50
BSデコーダー	59
DVDプレーヤー	62
VHF/UHFアンテナ	50
オーディオシステム	64
テレビゲーム機	57
ビデオデッキ	58
ビデオムービー	57
節電機能	33
BS電源オートオフ	33
深夜電源オートオフ	33
デジタルE.E.センサー	33
テレビ消し忘れ防止	33
無信号電源オートオフ	33

デジタルE.E.の効果表示	35
デモ	35
時計合わせ	56
ナ行	
ナチュラルシネマ	27
入力切換	17
ハ行	
光サインディスプレイ	11
ビデオ1入力端子信号のモニター出力	58
ビデオ2へのBSデコーダー入力	59
付属品	10
ふだんの使いかた	16
便利な機能	
音声切換	31
2画面	23
画面入換	23
BSジャック	27
裏番組	24
映画ボタン	27
オートパノラマ動作時の画面	28
画面位置の調節	28
静止ボタン	25
独立音声	31
どこでもズーム	26
ナチュラルシネマ	27
番組一覧	24
保証書とアフターサービス	72
マ行	
無信号電源オートオフ	33
メッセージ一覧	70
メニューボタンの使いかた	18
目次	8
ラ行	
リモコン	14
電池の入れかた	15

タ行

地域チャンネル合わせ	42
地磁気補正	39
チャンネル合わせ	
地域チャンネル合わせ	42
チャンネル設定の変更	44
使いかた	
オフタイマー機能	17
音量を調節	16
画面の表示	17
消音	17
チャンネルを選ぶ	16
電源を入れる	16
電源を切る	16
入力の切換	17

用語解説

受信チャンネル

受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

シネスコサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:2.35になっているものをこう呼びます。ビスタサイズより横長です。

スクランブル放送

映像・音声の信号を暗号化した放送。WOWOWやSt.GIGA、CATVの一部で使われています。

デジタルE.E.

Ecology & Economy(目にやさしい省電力) + Electronic Eye(電子の目)
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。

独立音声

テレビ画面と関係のない音声だけの放送。

ナチュラルピュア (Natural pure)

高画質を実現する「受信チューナー・映像を処理するデジタル回路・ブラウン管に表示する回路など」の技術の総称です。

ハイビジョン

画面サイズが16:9で、走査線数1125本の高精細映像方式。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:1.85になっているものをこう呼びます。

プログレッシブ(525i)

従来の映像と同じ走査線数525本ですが、一度に525本の走査線で表示(従来はその半分)しているため、従来より高精細な映像方式。このテレビでは従来の映像をプログレッシブ方式に変換して映しています。

ワイドクリアビジョン放送

画面の横縦比16:9の放送。画面サイズが16:9のテレビでは信号を検出して、自動的に画面サイズを「シネマ」に切り換えます。(画面サイズが4:3のテレビで見ると画面の上下に黒帯が出ます。)

Aモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

Bモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。
音質はCD(コンパクトディスク)と同等です。

BSデコーダー

BS有料放送(JSB、St.GIGA)のスクランブルを解除する機器。

BSデジタル放送

2000年に打ち上げが予定されている「BS-4後発機」で行われる放送です。すべてデジタル方式で放送されます。

BSデジタルチューナー

現行のハイビジョンテレビやBS放送受信機でBSデジタル放送を見るときに接続する機器です。

D3映像端子

コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。本機(D3)ではハイビジョン(1125i)・プログレッシブ(525p)・従来の信号(525i)が扱えます。

JSB

日本衛星放送株式会社

S映像信号

映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

S1映像信号

S映像信号にMUSE-NTSCコンバーターのフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。画面サイズが9:16のテレビでは識別信号を検出して自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

St.GIGA

衛星デジタル音楽放送株式会社の放送局名。WOWOWの独立音声を使って放送しています。

WOWOW

JSBが放送する番組の愛称。

525i/525p/1125i/750p/1125p

デジタル放送時代の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称です。本機は525i/525p/1125iの3方式に対応しています。

主な仕様

種類	フラットワイドテレビ	D3入力 (ビデオ1、3、5) 端子	映像： D端子 (D3) 音声： 0.5V(rms)、ハイインピーダンス
受信方式	NTSC	モニター/BS出力端子	S1映像： Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p) (バースト信号)、75Ω 映像： 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声： 0.5V(rms)、ローインピーダンス
受信チャンネル	VHF 1~12、UHF 13~ 62 CATV C13~C38 BS1、3、5、7、9、11、13、15	オーディオ出力 (固定) 端子	音声： 0.5V(rms)、ローインピーダンス
使用電源	AC100V、50Hz/60Hz	BSデコーダー接続	ビットストリーム出力端子： 0.5Vp-p、75Ω 検波出力端子： 0.67V(p-p)、75Ω
消費電力	182W 待機時 0.1W BS裏録時16.7W (BSコンバーター最大4Wを除く)	AVコンピュリンクII端子：	直径 3.5 mm、ミニジャック
年間消費電力量	216kW・h/年	ヘッドホン端子	直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
画面寸法 (幅X高さX対角)	AV-32AD1 65.9 cm x 37.1 cm x 75.6 cm AV-28AD1 57.2 cm x 32.2 cm x 65.7 cm	【その他】 最大外形寸法 (幅X高さX奥行)	AV-32AD1 83.2 cm x 54.3 cm x 54.2 cm AV-28AD1 73.4 cm x 48.8 cm x 48.3 cm
音声出力	5W+5W+10W	質量 (重さ)	AV-32AD1 55kg AV-28AD1 42kg
スピーカー	3cm x 10cm楕円型、2個 8cm x 12cm楕円型、1個 (低音用)	付属品	10ページ参照
アンテナ端子	VHF/UHF：75Ω、F型 BS：75Ω、F型 (BSコンバーター用電源 DC15V 4W 重畳)	別売品	テレビスタンド RK-C32FD2(AV-32AD1用) RK-C28FD2(AV-28AD1用) アンテナ混合器 VZ-84
【入力/出力端子】 ビデオ1、ビデオ2(BSデコーダー)、ビデオ3(DVD 音声)、ビデオ4(DV、ムービー)入力端子	S1映像： Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 (S映像) C 0.286V(p-p) (バースト信号)、75Ω 映像： 1V(p-p)、75Ω、同期負 音声： 0.5V(rms)、ハイインピーダンス		

- ※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
- ※ テレビの型(32型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- ※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
- ※ 年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。
- ※ AV-32AD1/AV-28AD1は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

ご相談や修理は	
ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、 お買い上げの販売店にご相談ください。	
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。	
修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様相談センター
72~73ページをご覧ください。	東京 ☎ (03) 5684-9311 【代表】 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎ (06) 6765-4161 【代表】 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検	●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！	点検を受けることで、故障の原因を事前に発見し、修理の必要がないようにすることができます。	もう一つは お買い上げ テレビの安全		
	このような 症状は ありませんか？	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●画面においがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。	➡	ご使用を 中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

Victor JVC
日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット
 〒306-0698 茨城県岩井市大字辺田1106番地 電話 (0297) 35-0066